
タイムシフト&ドリームスペル・ガイド

著者

ヴァルム・ヴォタン & ボロン・イク
(ホゼ & ロイディーン・アグエイアス)

翻訳・構成

高橋 徹&PAN日本語翻訳チーム

目次

■ 銀河連盟の贈り物指令	3
■ 石のまわりを歩く：すべての人のためのタイムシフトの儀式	4
■ 4次元の反時計まわりの時間とは	5
■ タイムシフトの催し 1992年7月13日□27日	6
■ ドリームスペルの背景となる記述	8
■ 子供たちの改革運動のためのドリームスペルの呼びかけ	10
■ ドリームスペル：銀河時間の惑星芸術	12
■ ドリームスペル：発見の本質；どのように発見されたか； それは何で、なぜ働くか；それは何をするのか	13
■ ドリームスペル／銀河時間の惑星芸術1□4	16
■ ドリームスペルの贈り物指令：＜青い自己存在の猿＞の布告	21
■ タイムシフト 1992年7月26日：銀河文化の勝利	23
■ 新しい太陽紀の宣言／8年間の人類のタイムシフト	25
■ 人類のタイムシフト 1992年□2000年 ハーモニック・リサーチエンスの8年間の変換テンプレート	27
■ マトリクス・チャレンジ	28
■ ＜赤い水晶の地球＞の布告	30
■ ドリームスペル／公式記録	32
■ マトリクス・サービス：＜青い水晶の夜＞の布告	33
■ ドリームスペルの行動計画と、地球の祝宴（ポトラッチ）	36
■ 完全警戒警報／タイムシフトからマインドシフトへ	38

Original Copyright (c) 1992-1999 by Jose & Lloydine Arguelles
Japanese Translation Copyright (c) 2000 by PAN Japanese Translation Team

銀河連盟の贈り物指令

ドリームスペルは、贈り物です。

ドリームスペルは、四次元から三次元への贈り物です。ドリームスペルは、四次元の時間の13：20の周波数の完全な表現であり、三次元の12：60の周波数で金銭と交換することはできません。

銀河連盟は、現在の12：60の地球規模の基準が金銭なしには作用しないこと、そしてドリームスペル・キットの生産と配布には金銭がかかることを理解しています。したがって、銀河連盟はドリームスペル・キットの生産に対する後援者と寄贈者を求めており、その人たちにドリームスペル・キットの配布に貢献してくれることを望んでいます。

利益のためにドリームスペル・キットを売ることは、銀河の法で禁じられています。したがってドリームスペルは、その人のただ1つの目的が可能なかぎり多くのドリームスペル・キットを無償で配る、自己溶解作用の費用をまかなうプロセスを必要とします。

ドリームスペルは、12キットの Karton で梱包されています。ドリームスペル・キットの配布は、1 Karton、すなわち1ダースのドリームスペルの最少注文でまとめて行なわれます。1 Kartonにつき、最少の寄付金額は60.00ドルが推奨されています。

最少で12人の人を集めることで、あなた方はドリームスペルのシードグループ（種子集団）を持ちます。ひとたびこれらの12人の人々それぞれがドリームスペルに参加すれば、こんどはその人たちが12人の人を集めます。ひとつのドリームスペルのシードグループは、こうしてドリームスペルに参加する144人の人へと拡張されます。このようにして、このプロセスは成長します。

ドリームスペルは着地しました

ドリームスペル

銀河の包括的な無償配布ゲーム（THE GALACTIC GENERIC GIVEAWAY GAME）

銀河連盟に命じられたから「銀河の」であり
すべての人が含まれるから「包括的な」のであり
誰も真相を持ち得ないから「無償配布」であり
すべては遊びの中にあるから「ゲーム」なのです

銀河連盟は静かにやってきます

石のまわりを歩く：すべての人のためのタイムシフトの儀式

1992年7月26日のタイムシフトは、三次元から四次元の時間への地球の動きを祝うものです。「石のまわりを歩く」は、この時間における次元のシフトを体験し、それを祝う機会をすべての人に与えるべく計画された儀式です。

地球は精巧につくられた石であり、宇宙空間に固定され、時間の中を運動しています。第三次元から第四次元の時間への動きは、人中心の物質主義から地球中心の霊性への動きです。銀河の力に支援されて、地球はすでに第四次元に交差しています。1992年7月26日に指定された瞬間にただ石のまわりを歩くことで、すべての人は地球——とみずから——がこの重要なシフトをすることを手助けする機会を持ちます。その方法は次のとおりです。

1. 独り、または集団で、特定の石のところに行くか、もしくはそれを見つけます。もし石がすでに適切な場所にあるのであれば、それでかまいません。そうでない場合は、いちばん適切だと感じる場所にその石を置きます。この石は地球全体を表わしており、磁気的に地球の核とつながっています。夜明けに自分の石で瞑想します。ひとたびこの石に自分の注意が固定したら、自分の意図もまた地球の核にまで伝わっています。

2. 三次元の時間は、12:60の周波数——1年12か月、1時間60分——で動いています。四次元の時間は、13:20の周波数——13の月、20の太陽部族——で動いています。三次元の時間は時計まわりに動いており、四次元の時間は反時計まわりに動いています。これを知ったうえで、最初に自分の石のまわりを少なくとも1回、時計まわりに歩きます。しばらく間をおいて、物質主義と古い秩序の12:60の周波数が通り過ぎることを祝います。そして自分の石のまわりを反時計まわりに歩くのです。自分の石のまわりを反時計まわりに歩き終わったら、しばらく間をおいて、四次元の時間と新しい秩序の13:20の周波数の導入を祝います。自分の石が自分の意図の信号を、地球の核に送り届けたことを確認します。

3. 自分の石に敬意を払います。その上に花を置きます。そのまわりに香を焚きます。前に進み出て、地球の解放と、宇宙的で平和なドリームスペルの時代——四次元の時間の銀河文化の夜明け——にすべての人類が入ったことを祝います。

銀河連盟は静かにやってきます！

四次元の反時計まわりの時間とは：

ドリームスペル・キットの構成部品はすべて反時計まわりの運動にしたがっていることに注意してください！ ドリームスペル・キットは、時計が三次元を対象にしているのに対して、四次元を対象にしています！

銀河の羅針盤が鍵であり、それはあなた方の強力な道具です。時間をかけてください。それを学んでください。そのすべての鍵となる運動は反時計まわりです。お告げ盤と旅程盤をヤントラを見るように扱います。キンごとに、すなわち日ごとにキンの書に従います。銀河の羅針盤で今日を突き止めることから始めます。どこの場所でもそれをはじめず、何も為さなければ、ドリームスペルはあなた方のために生じることはありません。気質はカルマです。カルマは気質です。それを複雑なものと思うならば、そのときそれは複雑になります。再び子供のようになるなら、それはあなた方を招き入れるでしょう！

注文のしかた

ドリームスペルは、それぞれ 12 個のキットの Karton で梱包されています。最少で 12 人の人を集めることで、あなた方はドリームスペルのシードグループ（種子集団）を持ちます。ひとたびこれらの 12 人の人々それぞれがドリームスペルに参加すれば、こんどはその人たちが 12 人の人を集めます。ひとつのドリームスペルのシードグループはこうしてドリームスペルに参加する 144 人の人へと拡張されます。このようにして、このプロセスは続くのです。

（※訳注：現在、日本語版ドリームスペル・キットは、まだ作られていません。これを読むあなたの寄付活動によって日本語版キットの作成資金が準備されます。ご協力をお願いします。）

タイムシフトの催し / 1992 年 7 月 13 日 ~ 27 日

タイムシフトの催しは、15 日間にわたって開かれます。それはひとつの完全な 13 キンのウェイブスペル、ひとつ前のウェイブスペルにある<宇宙の門>とそれに続くウェイブスペルの<磁気の門>を包括します。これらの 13 日の期間は、新しい時間の申し分のないフラクタルになっており、12:60 のパラダイム「時は金なり」から、13:20 のパラダイム「時は芸術なり」に螺旋移動します。

タイムシフトの催しの目的は、芸術としての時間を祝い、芸術は金銭より良い交換の媒体であることを示すことにあります。タイムシフトの催しは、12:60 の生活方法の一時停止を目的としています。タイムシフトの催しは、時間船地球 2013 の入り口を開き、虹の国家を生み出し、ドリームスペルの子供たちの改革運動を開始します。いつもとは違う仕事の 2 週間は、「新しい太陽紀」——人の諸問題に 13:20 の地球時間が回帰すること——の夜明けで最高潮に達します。

7 月 13 日 月曜日 13 世界の橋渡し 宇宙の門 魔法使いのウェイブスペル

異なった世界に橋をかける宇宙的な日。参入の儀式。12:60 の仕事の週ではありません。地球のための銀河の一撃。

7 月 14 日 火曜日 1 手 磁気の間 手のウェイブスペル

銀河の地球のために人の偉業を祝う。12:60——金銭、石油を使わない——の一時停止の目的の公共的な宣言。タイムシフトの催しのあいだ続けるドリームスペルのキットの配布をはじめます。

7 月 15 日 水曜日 2 星 月の部屋 手のウェイブスペル

芸術としての 13:20 を維持する呼びかけ。芸術としての時間のおもな芸術的な祝祭と実演。

7 月 16 日 木曜日 3 月 電気の部屋 手のウェイブスペル

トリニティサイト、最初の原子爆弾の 47 年目の記念日。惑星の浄化の催し。惑星を清める者としての人の奉仕を宣言します。

7 月 17 日 金曜日 4 犬 自己存在の部屋 手のウェイブスペル

惑星の愛の集会。宇宙的な許しの日。無条件の愛としての 13:20 の形を確認します

7 月 18 日 土曜日 5 猿 倍音の塔 手のウェイブスペル

本当の「土曜の夜のライブ」。惑星の芸術と魔術の催し。芸術としての時間を自由にあやつります。

7 月 19 日 日曜日 6 人 律動の部屋 手のウェイブスペル

生物圏の権利の主張。キンの同等を命じる。自由意志の実習を通じて惑星上のすべての生命の同等を命じます。

7 月 20 日 月曜日 7 空歩く者 共振の部屋 手のウェイブスペル

第 2 週の最初の日。惑星の調律の催し。「どのように思い出すか」を思い出します。地球の祈りと瞑想。

7 月 21 日 火曜日 8 魔法使い 銀河の部屋 手のウェイブスペル

銀河文化の宣言、祝祭、そして実演。銀河のスピン回帰、トリニティサイトの銀河の署名。核時代の終わり。

7月22日 水曜日 9 鷲 太陽の塔 手のウェーブスペル
来たるべき太陽紀の宣言、実演、ヴィジョンと、太陽の力のあらゆる形をつくります。

7月23日 木曜日 10 戦士 惑星の部屋 手のウェーブスペル
惑星の虹の戦士の宣言、実演そして現われ。虹の国家の創設。

7月24日 金曜日 11 地球 スペクトルの部屋 手のウェーブスペル
<12・魔法使い>の年の最後のキン、宇宙の月・28日。水晶の地球の解放を祝います。

7月25日 土曜日 12 鏡 水晶の部屋 手のウェーブスペル
緑の日
時間船地球 2013 への入り口が大きく開かれます。惑星格子の一時的な非物質化。

7月26日 日曜日 13 嵐 宇宙の門 手のウェーブスペル
タイムシフト
<13・嵐>の年の最初のキン、磁気の月 1 日。波動が頂点に達し、12:60 回路が壊れます。すべてが時間船地球 2013 に乗船し、13:20 にギアが入ります。

7月27日 月曜日 1 太陽 磁気の間 太陽のウェーブスペル
新しい太陽紀
新しい太陽紀の夜明け。古い世界は去ります。13の月が動きはじめます。ドリームスペルの子供たちの改革運動とスウィープステイクスは日常の出来事になります。

クラトゥ・バラダ・ニクト！
銀河連盟は静かにやってきます。

銀河連盟のために、ホゼ&ロイディーン・アグエイアスによって提出される
キン 214、律動の魔法使い、1991年8月15日

ドリームスペルの背景となる記述

私たちは、銀河時間の実験にかかわっています。私たちの実験の最初の段階は、非常に宣伝されたメディアの催し、1987年8月16日・17日のハーモニック・コンバージェンス（調波収束）でした。この催しは、銀河の参照枠として理解されているマヤの暦法の正確さを示しました。

これらの暦法によれば、ハーモニック・コンバージェンスは、紀元2013年に完了する進化のおもな周期の最後の26年の開始点でした。ハーモニック・コンバージェンスは、私たちが知っている世界の終わりののはじまりをしるしたのですが、かといってそれは世界の終わりではありません。

1987年からの事件は、この主張を支持しています。1987年が終わる前に、ニューヨークの株式市場は暴落し、ミハイル・ゴルバチョフは冷戦に終止符を打つ動きを開始しました。

1988年は、環境問題に対する空前の関心が満ちていました。この惑星が絶滅の危機に瀕しているという事実は、『タイム』誌の1988年の「MAN OF THE YEAR」賞を奪い取り、環境に対する関心が復活したことを強調しました。

1989年全体にわたって、地球的な事件が、共産主義世界に吹き荒れた反乱と革命という非常に興味ある形をとりました。11月9日のベルリンの壁の突破と、1989年12月31日の冷戦終結の完全なる挙行は、誰ひとりとして予見しなかった注目に値する出来事でした。

冷戦終結の真価の完全な理解が確立される前に、中東での事件が劇的な転換をはかりました。1990年8月2日、イラク軍がすばやい動きで富裕なペルシア湾岸国家、クウェートに侵攻しました。いったい誰が、この事件に反応して50万人のアメリカ軍がサウジアラビアの砂漠に野営することを予見し得たのでしょうか？

10月中旬、ゴルバチョフが冷戦終結の努力を認められてノーベル平和賞を受賞しましたが、ソビエト連邦は経済的にひびが入っていました。同時にかつては威勢のよかった米国の経済と政治体制が、ソビエトの体制の混沌と不条理を反映しはじめました。

この2つの超大国が混乱に陥りました。石油と金銭にまつわる紛争が、中東で未解決の歴史的な緊張を悪化させ、第3次世界大戦の不安を呼び覚ましています。同時に、人口の急増と急速に退廃する地球環境が、集まる暗闇の雲の中に未来全体を置いています。

そう、私たちの知っている世界は終わりつつあります。次に何が来るのでしょうか？

銀河時間の枠組によれば、ハーモニック・コンバージェンスの次の弾き金となる出来事は、1992年7月26日のタイムシフトです。このタイムシフトは三次元から四次元の時間へ向かう移行点を示します。

現在、人類は、1年12か月、1時間60分を基礎にした三次元の時間で動いています。5000年以前の有史以来、この三次元の時間の枠組が、今日の地球規模の産業文明のエントロピー的な物質主義を生じました。世界文明の崩壊は、三次元の時間がもはやこれ以上続くことが望ましくないことを示しています。惑星地球上で生き残るために、人間存在はいま三次元の時間を手放し、新しく作用する秩序＝四次元の時間を受け入れなければなりません。

1992年のタイムシフトは、13の力の回帰——13の月、13の銀河の音——に根拠を置いています。惑星地球の自然な周期は、1太陽年当たり13の月です。13の周期で生きることは、銀河時間の四次元の体験の基礎です。

1992年7月26日のタイムシフトは、普遍的な平安の時代へと導きます。ハーモニック・コンバージェンスと同様、タイムシフトは草の根の運動となり、地球各地に根づく催しです。私たちは、タイムシフトで起こる変化の莫大さに備えるために、次元間で動くための道具キットを開発しました。

ドリームスペルと呼ばれるこのキットには、次のものが含まれています：ひと月28日、13

か月の完全な太陽暦。三次元の日付を四次元の日付に変換し、あらゆる人を銀河時間の中に位置づける銀河の羅針盤。倍音のすべてにおける銀河時間を迎える旅程盤（ジャーニーボード）。次元間の戦略と惑星計画チームを開発するためのお告げ盤（オラクルボード）。あらゆる人の「銀河の署名」を登録するキンの書。

タイムシフトまで、すでに19か月しか残されていないために、ドリームスペル・キットを前例のない無償配布としてリリースしようと私たちは考えています。このようにして、ドリームスペルの広がり、タイムシフトを実行する用意ができている「惑星キン」としての数多くの人々に備えます。

1992年から2000年のあいだ、惑星キンは、キンの法則と13の月の力によって生きること、時間船地球2013の20の太陽部族として備えます。この仕事によって達成される人間社会の統一された再組織化は、地球中心の四次元、平和的な地球文化を確立することでしょう。

2000年から2013年のあいだ、人は銀河の時代への完全な参入に備えます。20世紀にとって宇宙旅行だったものが、21世紀にとっては時間旅行になるでしょう。2013年から振り返ると、人類とこの惑星が、向こう見ずの混沌から銀河存在の想像もできないような清澄さへと浮上したことを見るでしょう。

子供たちの改革運動のためのドリームスペルの呼びかけ

改革運動：着想あるいは理想の擁護、あるいは進歩のための精力的で非攻撃的な運動。たとえば、子供の虐待に対する運動、地球のための運動、など。

ドリームスペルは、銀河文化の四次元の時間に人類をむすびつける戦略です。

ドリームスペルのスウィープステイクス（賭けレース／くじ）は、「時間船地球 2013」へ人類が回帰するために計画されています。子供たちの改革運動をはじめドリームスペルのスウィープステイクスは、1992年7月26日から1993年の7月26日まで続きます。

四次元の地球は、時間船地球 2013 として知られています。人は現在、物質主義にそまっているために、四次元の時間に入ることができません。

物質主義は、12：60 と呼ばれる「時間の薬物」です。12：60 は集合的な信条システムの周波数——1年12か月、1時間60分——です。物質主義は、三次元の唯一の物差しであるために、それは人の宇宙服に影響を与え、それを無気力で、不適切なものにし、物質的なモノの必要を常に感じるようにさせます。

12：60 の薬物は、管理不可能な人口の増加と惑星汚染を伴う人の文明の道筋に強力に影響を及ぼすために、いまや13：20の周波数の壁：1992年7月26日のタイムシフト、と正面衝突しようとしています。

ドリームスペルでの1992年7月26日のタイムシフトは、＜13嵐・青い宇宙の嵐＞という銀河の日付です。それは12：60の周波数が、最大限のエントロピー、終わることのない死あるいは完全な再生の可能性を獲得する瞬間を表わしています。13：20は、四次元の時間の周波数——13の月、20のウェイブスペル。13の銀河の音、20の太陽部族。13：20の時間船地球の四次元の周波数——です。

12：60の価値を持つ物質主義と全世界は、次世代へと手渡されるいまだかつて誰も拒否することのできなかつた遺産です。現代世界における教育と社会化の全体的な目的は、子供たちを12：60の細いくぼみに当てはめて、物質主義の耐えがたい仕事を続けるようにさせることにあります。

物質主義の遺産にしたがって、子供たちは生まれながらに債務を持ちます。人は、出産、健康管理、死にたいする料金を請求する地球上の唯一の生き物です。いまの世代の子供たちがみずからの手で物事を受けとめなければ、彼らはこの惑星上の人類の最後の世代になってしまうでしょう。

だからこそ、地球のすべての子供たちにドリームスペルのスウィープステイクスと子供たちの改革運動への参加が、呼びかけられています。

ドリームスペルのスウィープステイクス：1年以内に人類を統一し、この惑星を手にいれます。どのように人類を統一するのでしょうか？ すべての人類に13の完全な月の共通の暦を位置づけ、誰もが同じ時間の中で動くようにすることによってです。

もし誰もが同じ時間の中にあり、その時間が13：20の周波数に同期しているのであれば、あなた方は、この惑星の周波数の中で動いています。この惑星はあなた方のものであり、出航を開始します。いまやあなた方すべては、時間船地球 2013 に乗船し、紀元 2013 年、銀河の同期に向かいます。時間船地球 2013、ときは今です。

銀河時間でこのスウィープステイクスは、＜13嵐＞から＜1種＞まで続きます。＜黄色い磁気の種＞の1993年7月26日は、再生のために申し分のない瞬間です。ドリームスペルのスウィープステイクス：ひとつの回転で、あなた方は中にいます。13の月で、この惑星はあなた方のものになります。

目標となるゴール：1993年7月26日までに、この惑星上のすべての人が「13の月の暦」で

動き、惑星地球のための清浄&解毒キャンペーンをはじめ準備が整うこと。

キンの法則にしたがえば、地球上のすべての人は等しい力と場を持ちます。この法則は、すべての子供たちにも同じように当てはまります。子供たちは、自分たち以外のどんな政府も持たず、地球に対して以外どんな忠誠も持ちません。地球の子供たちは、三次元の物質主義から四次元の銀河文化への必要な移行を果たすのに、十分に純粋な唯一の存在です。

ドリームスペルの戦略を実行する道具は、ドリームスペル・キットです。ドリームスペル・キットは、子供たちへの贈り物です。それは、この惑星のすべての子供たちのためにこの贈り物を寄付し、それに貢献する親たちや大人たちのためにあります。一団になった「十分の一税」(TITHING) は、このキットの生産と配布、およびスウィープステイクス後援の主要な手段となるでしょう。

ドリームスペル・キットは、リアルタイムのロールプレイングの形で、四次元の時間や銀河文化のすべての基礎を与えます。

一世代の範囲での子供たちの改革運動で、ドリームスペルから惑星地球の銀河文化を生じるようになります。大人たちは再び子供ようになります。大人たちは、古い 12:60 の文明に対する子供たちの使者を演じることで、新しい時間への平和的な移行を助けます。

1991年10月1日、<赤い磁気の竜の日>に、段階的に計画されたドリームスペル・キットの配布がはじまります。正確に1回転と3つのウェイブスペルのあとに、タイムシフトが起こります。1991年10月1日から1992年の7月26日のこの重要な期間のあいだのスウィープステイクスの詳細な記述と促進は、必ず準備されねばならず、そして子供たちのネットワークは活性化され、惑星の基礎の上につながられなければなりません。

本質的にスウィープステイクスは、コンテスト(競技)——最初は友人をドリームスペルに入れます。そして自分の両親を。そして自分の学校で。そして地域の公共機関で。そして国家政府に——のように生み出されます。要点は、単純に「13の月の暦」にすべての人たちが従うようにすることです。

このすべては、1年以内になされ得るもので、それは人の歴史において最も強力な平和的な革命を形づくることとなります。人類は12:60の周波数で動くかわりに、13:20という時間船地球の周波数で動くようになります。いま理解できないことは、可能になり、当たり前になるでしょう。

1993年7月26日の<黄色い磁気の種>の日までに、銀河の同期、紀元2013年を迎える20年の計画を告げる宣言がなされます。地球の子供たちと年長者たちの委員会が、銀河文化の特権と、それを成し遂げるためにとられるべき必要な手順を説明します。時間船は浄化され、その試運転の準備が為されます。未来は回復され、過去は許されるでしょう。

ドリームスペル：銀河時間の惑星芸術

『ドリームスペル、時間船地球 2013 の旅』は、芸術の催しです。ドリームスペルに関するすべてのもの、その創造物、生産物、そしてそれを遊び、演じることを広げることは、犯すべからざる芸術の規範に従います。この芸術の規範は、完全に 13：20 の銀河の周波数であり、そして銀河文化の基礎そのものです。もしこの規範があらゆる側面で守られないのであれば、そのときドリームスペルは、その芸術的なゴール——銀河時間の惑星芸術の創造——に達することはありません。

ドリームスペル芸術の当面の目標は、物質主義の記憶喪失症から人類を癒す手助けをすることです。この症状そのものを当面、癒さないかぎり、人類は未来への選択可能性を投げ捨て、惑星地球そのものも破壊されてしまうことになるでしょう。

ドリームスペルは、どんな法律上の契約もなしに生産されたもので、完全に私的な寄付によって資金提供されています。配布プロセスでのあらゆる支援もまた、寄付によるものとなります。ドリームスペルの出所は、銀河知性の指令です。銀河知性は、金銭だけでなく、国家主義を含む、金銭を擁護するためにつくられた法律や制度のすべてを認知しません。このことは、ドリームスペルがその十全な表現である、芸術の規範のバックボーンです。

ドリームスペル芸術のひとつの鍵となる側面は、それが「無償配布」であることです。ドリームスペルから利益を得ることは、その芸術的統合性を破壊することです。ドリームスペル・キットを無償配布する行為そのものが、物質主義者の金銭哲学全体と政府が制限する「自由」の合法性に立ちまかります。

ドリームスペルは、芸術的かつ科学的に四次元の性質を示す教育的なゲームとしてつくられています。その目的は、四次元の時間に人類が入ることに備えることです。現在、人類は三次元の時間：1年12か月、1時間60分に応じて動いており、それは「時は金なり」の型を生じます。ドリームスペルで、時間は芸術です。

ドリームスペルは、すべての人に贈り物として与えられることを意図しています。最初の1万キットは12個のロットで配布され、それによって人は郵送費と手数料のコストだけを負担するように求められます。それが極小の活字体で「教育用ギフト、再販不可」とキットの箱の外側に印刷されている理由です。この贈り物の配布は、あらゆる分野の人々が対象となりますが、特別な対象市場は教育者、芸術家、科学者です。

銀河知性のエージェント、ホゼ&ロイディーン・アグエイアス

ドリームスペル：発見の本質；どのように発見されたか； それは何で、なぜ働くか；それは何をするのか

1. アインシュタインは、時間が四次元であると言いました。ですが、彼はそれが何か、あるいはそれがあなた方に対してどのように働くかを教えてはくれませんでした。

ドリームスペルは、惑星進化を支配する銀河の四次元の計時周波数の発見です。またドリームスペルは、いまや地球を支配しているまちがった 12:60 の人の計時周波数に対する批評でもあります。ドリームスペルの発見は、ドリームスペル・キットとしてあらゆる人に手に入るそのキットの実際的な応用を含んでいます。ドリームスペル・キットは、12:60 の三次元の時間から、13:20 の四次元の時間へ移行するための道具セットです。

2. 私たちは 33 年にわたるマヤ暦の研究を通じて、この洗練された計時法——ツオルキン——の核心が、実際には銀河のコードであることを確信するようになりました。13 の音と 20 の太陽の紋章で構成されるこの銀河コードの本質は、放射状母体に基づいたフラクタル数学です。私たちが考えるに、このコードの目的は、四次元母体、あるいは銀河の第 5 の力のビームを通る、地球の道筋の諸段階を目盛ることにあります。

私たちはツオルキンに加えて、もうひとつの手がかり、「預言的な日付」の 1987 年 8 月 16 □ 17 日をたずさえていました。この日付は、この暦のフラクタル数学的な理解を示すものです。どのようにでしょうか？

第 5 の力のビームのフラクタル数学は、26 に基づいています：ツオルキンの 260 キン（日）は、惑星進化周期の 26000 年と同じ関係にあります。私たちの仮説によれば、1987 年 8 月 16 □ 17 日の日付は、26000 年の進化周期のフラクタルである最後の 26 年への移行をしるしてしました。この仮説が正しかったとすれば、やがてハーモニック・コンバージェンスとして知られるようになるこの日付は、地球全体で同時に目撃され、人と地上の出来事の世界舞台に、前代未聞の変化の時代の到来を告げたとされます。

これまでのところ、この仮説は真実であることが証明されています：冷戦の終結。共産主義の崩壊。戦闘のさなかにあり、失墜しつつあるこの惑星の金融経済制度。何にも増して優先されている地球の変化に対する関心。銀河のビームと、この 400 年のあいだ初めての超新星で当惑させられている科学。

四次元の時間に関する私たちの実験の初段階の仮説と理論は、『マヤン・ファクター』（1987 年）で十分に詳しく述べられています。

私たちにとって、ハーモニック・コンバージェンスの成功は、自分たちが正しい進路にいたことの十分な証明でした。いまや次の段階が来ました。

この暦法システムのフラクタル数学によれば、コード全体は普遍的に応用可能です。このコードは、26000 年、あるいはそれより大きい周期の描写となり得ます。それは、太陽系の四次元の「物理学」を説明できます。あるいは、その四次元の対応物、ホロンとの関係における人間有機体のコード化として読むことができるでしょう。これが事実なら、私たちの仮説は、四次元としての時間の十分な論証と、四次元の時間に入るあらゆる人を支援する実用的な道具セットになるべく解読され、再形成されるシステムだったということになります。

1989 年 12 月、私たちはスイスのジュネーブにある時間博物館での体験を通じて、自然の惑星計時周波数の存在を発見しました。この自然の惑星計時周波数は、13:20 で、マヤのコードの 13×20 単位のツオルキンによって説明されます。私たちの発見した現在の計時周波数は、12:60 です。13:20 は四次元の計時周波数であり、12:60 は三次元の計時周波数です。

ジュネーブの時間博物館は、実際には時間の機械化の歴史を展示しています。時間の機械化

が可能だったのは、文明のはじまり、約 5200 年前の有史以来、人が自然の 13:20 の周波数を、12:60 の周波数:1 年 12 か月、1 時間 60 分にとって代えたからでした。この 12:60 の周波数は 360 度の円に基づいたもので、太陽のまわりを回る月や地球の自然の周期に基づいたものではありませんでした。

成文化された最終的かつ究極的な 1 年 12 か月の暦は、グレゴリオ暦でした (紀元 1582 年)。いまや地球的な基準となったこの暦は、マヤ文明の征服とヨーロッパの世界一周のあとに、教会によって決められたものでした。

成文化されたグレゴリオ暦と共存したのが、時間の機械化の最終段階でした。17 世紀のはじまりまでに、12:60 の計時周波数が整備され、この惑星上に純粋な三次元の「観念の泡沫」を作り出しました。こうして科学的な物質主義の革命が可能になり、産業革命が起こります。そしてその間を置かず過去 2 世紀のあいだ、さまざまな民主主義と社会主義の革命が起こります。これらの 12:60 の、時計まわりの革命のすべては、莫大な人口の増加、物質主義の急速な普及、そして環境汚染と現在の世界危機の悪化を伴っていました。

この危機は純粋に 12:60 の計時周波数の機能であるために、この計時周波数自体を払拭し、自然の 13:20 の計時周波数に戻ること以外に、それを解決しうる手段はありません。

私たちは、13:20 と 12:60 の計時周波数の本質と原理、およびその効力を理解したことで、あらゆる人、ひとりひとりが 12:60 の計時周波数を離れて 13:20 に入ることを支援する道具の開発に集中することができました。四次元の時間の放射状母体の実際的な応用であるこれらの道具は、最終的に「ドリームスペル:時間船地球 2013 の旅」という道具キットの形をとりました。

3. 放射状母体は、13:20 という「いま」を中心にした宇宙論です。四次元としての時間の正確な描写となる放射状母体は、三次元の 12:60 の計時周波数の直線的な秩序を完全に乗り越えます。ドリームスペルの道具キットは、四次元の時間の放射状母体の完全な解説と表示であり、12:60 の物質主義文明を、13:20 の銀河文化の地球時間へと変換する実際的な手段です。

この道具キットには、以下のものが含まれます。

- … 現在の不正確な 12 か月の暦に代わる完全な「13 の月の暦」。
- … 三次元の時間を、銀河スピンの四次元の時間に変換する「銀河の羅針盤」。
- … 自分占いで、自己権限および個人の自律性を回復する「お告げ盤」(オラクルボード)。
- … 自分の人間関係のすべてをマッピングし、惑星統一と、それに応じた新しい知識の基礎および社会組織を確立する「旅程盤」(ジャーニーボード)。
- … 四次元の法則:「すべての惑星キンは等しい力と等しい場を持つ」を確立する、新しい「創世記」と「キンの書」。

ドリームスペルが働くのは、それが惑星、月、太陽、そして銀河の諸力:13:20 の周波数一との関係における正確な暦および人間の基準であるからです。ドリームスペルは、現在の惑星危機を作りだした強力な失語症的計時法を、完全な「13 の月の暦」、地球の自然の計時メカニズムを回復することで修正します。

12:60 の科学は、抽象的な計測装置を使った二次的な知覚から導かれる仮説的な推論を支持し、人を強制退去させます。この科学の威厳は、個人の権限を剥奪し、抽象的な権威に対するさらなる責任委譲の段階を設定します。ドリームスペルによれば、自律的で個人的な人間だけが、自分の人生と、その環境に対する影響の完全な責任を負うことができます。このようにしてドリームスペルは、いまや世界を包囲する失語症的な社会的、倫理的な条件を、キンの自律と同等に基づいた普遍的な銀河の規範倫理を再構築することで修正します。

すべての権力と権威を惑星キンとしての人々に返す正しい状況が、人を基準にした、地球中心の持続可能な惑星文化の即座の発展のために作り出されます。これは、脱国家と脱産業化のプロセス、およびその結果として起こる生物圏的、生態地域的な集団へと人間社会を再編成す

ることで達成されます。シンクロシティ（共時性）、テレパシー、そして無条件の愛という、回復された四次元の力によって共に編み込まれる新しい13:20の集団は、地球の回復のために必要な次元間の技術を発達させ、人の運命の成就を導きます。新しい社会秩序の中で、キン・クレジット・システムが生じ、それは金融を基礎にした古い経済システムにとって代わります。

私たちにとって、銀河時間枠の解釈としてはじまったものが、ドリームスペル：人間社会の適切な再組織化と、惑星、時間船地球2013の自然の秩序の再構築のための完全な手段をもたらす総合科学的な打開策——となりました。

4. ドリームスペル・キットは、13:20という地球の計時周波数を人類全体にもたらし、それぞれの個人にすべての制度と政府から独立した自律性を確立する手段を提供します。人の自律性が13:20の地球の周波数で再構築されるために、最初に為すべきことは、当然かつ必然的に、地球と再び調和することです。地球は12:60の科学と文明の行き過ぎからの損傷に苦しんだために、集合的な13:20の振る舞いの最初の形は、地球のためのキャンペーンの性質を帯びます。

新しい13:20の社会形態で自律的に生きることは、本能的に地球と調和することです。そのため、地球のためのキャンペーンのプロセスは、本質的に芸術的であり、集合的です。多様性は、異なった生態地域の必要に対する適切な調律を通してもたらされます。そのとき、この地球のためのキャンペーンは、同時に産業や国家主義の時代の後の、統一された銀河文化確立の基礎となります。

1992年7月26日、12:60から13:20の周波数へのタイムシフトの惑星規模の支援と祝祭、および「13の月の暦」の普遍的な採用は、地球のためのキャンペーンを成し遂げるドリームスペルの歩みを大きく早めるでしょう。

5. ドリームスペルの発見と創造は、真実の追求に関する問題でした。ドリームスペルを提供し、そこに潜在する人間社会の平和的な革命と地球回復の主張を通じて、私たちはただ真実に仕えることを求めるだけです。

ホゼ&ロイディーン・アグエイアス
水晶の魔法使いの年
共振の月22日
キン123 青い律動の夜
1992年1月31日

ドリームスペル / 銀河時間の惑星芸術 / 目的の記述 / 状況報告

計画プログラム / チーム開発

水晶の魔法使いの年
太陽の月 10 日
11・手
1992 年 3 月 16 日

1. 目的の記述

ドリームスペル: 時間船地球 2013 の旅は、惑星概念の芸術作業です。この惑星芸術の概念は、ドリームスペルのプロセスの創造、生産、それを遊び、演じての配布に至るまで、あらゆる局面を包括します。

ドリームスペルは、箱に入ったキットの形で作用する道具セットであり、三次元の機械論的な時間から四次元の銀河時間へと、あらゆる人間存在を移行させる手助けをします。ドリームスペル・キットが商品のように見える形で作られていても、それは市場で買ったり売ったりされる製品ではありません。

ドリームスペルは贈り物です。それは銀河連盟から、ひとつの全体種としての人類への贈り物です。この贈り物は、銀河時間の惑星芸術の実践方法を学ぶための道具です。この道具自体が、あらゆる角度から見て芸術作品です。

この芸術が惑星的なのは、すべての人々は同じ惑星上に存在しているからです。それが銀河的なのは、時間が、星系とその惑星体に同期する高次の秩序原理だからです。それが贈り物なのは、現在人類には、それを贈り物として受け取る以外に、銀河時間について知る方法がないからです。なぜでしょうか？

銀河の時間と知性は、四次元のもので、四次元の知性は、物質主義、人間中心の現在の基盤とはまったく異なっています。物質主義では「時は金なり」で、あらゆる人はこの惑星で生まれ、生き、死ぬために金銭を払わなければなりません。

銀河の視点から見ると、生命は無償の贈り物です。金銭は、普遍的な創造の礎石のひとつではなく、最近作り出された人類のフィクションです。ドリームスペルの目的は、人間の知性を生命の贈り物に無償で返すことにあります。ドリームスペルのメッセージは: 「金銭時間の奴隷から、芸術時間の贈り物へ」です。

時間の芸術は、三次元、物理的な世界の非永続性の自覚を基礎にしています。これとは対照的に、物質主義は非永続的なものを永続化させる努力です。物質主義は、過ぎ去る瞬間に対する人間のリアリティの価値を低下させる、高価な維持制度を生じています。

時間の芸術が非永続性に基づくからといって、それは非永続性に調和と秩序がないことを意味するわけではありません。銀河時間の高次の秩序原理は、五感のすべてによって体験されることを意図している完全な美学です。ドリームスペルは、時間を使って五感を調和させる方法です。銀河時間の惑星芸術は、意識的に関心の払われた、人の人生の道筋と異なるものではありません。

今回、ドリームスペルの贈り物を提供するの、人が自分を高次の秩序原理、銀河時間の美学との結びつきや同期を必要とする、集合的な統一体であると理解できるかどうかを、銀河連

盟が見たがっているからです。

贈り物そのものの性質が、ひとつの芸術形態です。贈り物を与え、それを受け取ることは、金銭に対するどんな考えをも超越する、譲り渡すことのできない権利です。金銭は、質を量に置き換えることで、みずからの五感の直接的な体験から人を引き離す抽象的な概念となります。これが理由で、人は質のために支払うことを余儀なくされます。

ウィリアム・ブレイクは、金銭に関する視点が存在するところに、芸術は存在できないと声明しました。ヴィンセント・ファン・ゴッホは、彼の生きているあいだに一銭も稼ぐことはできませんでしたが、彼の死から百年後、彼のひまわりの絵のひとつに8200万ドルが支払われました。物質主義の世界に生きていることを自覚したアンディ・ウォーホールは、自分のスタジオを、物質主義の価値観を誇示する「ザ・ファクトリー」(工場)に変え、金銭のために芸術を創造しました。

ドリームスペルの創作者であり、提示者である私たちは、芸術が売れるのは、より多くの金銭を払えば、より多くの質を手に入れるという「権限を剥奪する信条」の会員権を、人々が買い込むためであることを知っている2人の芸術家です。この特徴は任意のものであることを理解する銀河連盟は、ドリームスペルを提示する代理者になるよう私たちを選びました。

私たちの創造的なプロセスは、高度に直観的なものです。それは、私たちが何よりもまず芸術家だからです。芸術家である私たちは、最も高い質以外には満足できません。ドリームスペルに関するどんな決定に際しても、金銭がそれに関与することはありませんでした。ミケランジェロは、彼自身の媒体である大理石で作業しました。私たちの芸術の媒体は、時間そのものでした。時間は私たちを普遍化し、ひとつにするため、私たちの芸術「作品」のドリームスペルは、それを誰が自発的に使おうとも、惑星芸術の作業へと普遍化される能力を持つ普遍的なものです。

ドリームスペルが普遍化するのには、五感の美学に基づくからで、抽象的、直線的な概念に基づくものではないからです。

芸術の作業として、ドリームスペルは贈り物としての普遍的な質が保たれるべく、後援される必要があります。ドリームスペルの贈り物の性質は、その芸術的統合性の礎石であり、妥協されうるものではありません。

私たちは贈り物としてドリームスペルを受け取り、こんどはそれが贈り物として与えられます。なぜでしょうか？なぜ時間に金がかかるべきなのでしょう？真の時間の芸術として、ドリームスペルには金がかかりません。私たちは実際に時間を金で買うことなどできません。時間を買うという考え方は、生命に金がかかるという妄想に基づくごまかしです。

銀河時間の贈り物として、ドリームスペルは文化的な道具です。その計り知れない芸術価値は、科学的、数学的なその発見の独自性と同じものです。ドリームスペルは、芸術、科学、霊性を融合する具象です。それは、銀河時間の惑星芸術として、人類全体の遺産です。

ドリームスペルは、放射状母体：四次元の時間の数学——の科学的な発見の表現です。この発見の一局面は、惑星地球の銀河の計時周波数と、機械論的な三次元の計時周波数の描写です。地球の周波数は13:20(13の月、20のウェイブスペル)です。機械論的な周波数は、12:60(1年12か月、1時間60分)です。

ドリームスペルの発見に関する目立った特徴は、1992年7月26日のタイムシフトです。これは、地球的に12:60から13:20の計時周波数に移行するポイントをしるし、新しい時間に入る5年間のはじまりを宣言する日付です。

これからの世代の人間生命に、積極的に影響を及ぼす文化現象の普及を無条件に後援することは、決して保証されることのない資本収益を必要とするどんな投資よりも、はるかに大きい配当を刈り取り(受け取り)ます。ドリームスペルを後援することは、偉大な博愛主義者たちの名前よりも長生きする功績を獲得することです。

私たちは、ドリームスペルの贈り物の統合性と理解を示すために、1992年5月1日、サンフランシスコのゴールデンゲイト公園で「銀河の贈り物・無償配布の催し」を開き、5000個のドリームスペル・キットを無償配布する準備ができています。この催しは、潜在する後援者と寄

贈者を集める手段になるとともに、私たちの言葉が真実であることを世界に示すものです。

ドリームスペルは、中央アメリカのマヤの260日の「聖なる暦」=ツオルキンの数学的なコードに対する余すところのない研究を踏まえ、ホゼ&ロイディーン・アグエイアスが創作し、開発しました。背景となる研究は、アグエイアス博士の著書：『変容のヴィジョン』（1975年）、『アース・アセンディング』（1984年）、『マヤン・ファクター』（1987年）に現われています。ドリームスペルの作業の前段階として、アグエイアス夫妻は地球規模で公表された催し、1987年8月16日17日の「ハーモニック・コンバージェンス」の提唱者となりました。

2. 状況報告

最初の1万個のドリームスペル・キットは、1991年10月、香港のチェルシー・パシフィック・アンド・インターリンク・プロダクションで生産されました。この最初の生産は、個人的な出資でまかなわれました。そのうち200個が1991年11月までに配布されました。スペイン語への翻訳がすぐに始まりました。

1992年の12月、750カートン（9000キット）のドリームスペルが、カリフォルニア州サンフランシスコの配布地点に届きました。50カートン（600キット）がハワイのホノルルに残され、それも1992年2月までに配布されました。3月1日の時点までで、サンフランシスコからすでに1400キットが配布されていました。配布プロセスは、非公式の自己発生的なネットワークをもとにしています。この草稿を書いている時点で、ドリームスペル・キットは、メキシコ、スペイン、ロシア、イギリス、カナダ、オーストラリア、ニュージーランド、日本、インド、そしてもちろん香港にも到着しています。

タイムシフトの催しは、すでにオーストラリア、ロシア、イギリス、メキシコ、スペインで発表されています。米国では、さまざまなグループがすでにワークショップを計画中で、ドリームスペルのニューズレターなども誕生しつつあります。

ドリームスペルの理解の促進と市場調査のために、1992年1月、アグエイアス夫妻は世界の旅をはじめました。それには、米国本土、カナダ、メキシコ、香港への訪問が含まれ、将来的には、日本、ロシア、ドイツ、そしてイギリスへの訪問計画が予定されています。

メキシコ滞在中、アグエイアス夫妻は、ドリームスペルのプレゼンテーションを、社会のあらゆる階層を代表する集団に向けて行ないました。スペイン語の翻訳完了を確かめ、ドリームスペルのスペイン語版に対する出資が確実になったことを確認しました。メキシコの元大統領、ルイス・エチェベリア氏との広範な会見（1992年2月18日）。ラテンアメリカ北部のIBM教育担当部長との広範な会見が持たれ、ドリームスペルの科学的な性質についての議論と立証がなされました（1992年2月20日）。そして1992年3月1日、メキシコシティのホテル・リフォルマで主要な記者会見が催され、120人の出席者を迎えました。

さらなる記者会見は、香港、東京、モスクワ、そして「サンフランシスコのゴールデンゲイト公園の無償配布メディアの催し」で計画されています。モスクワでは、ソビエト科学アカデミー副会長のアンドレイ・ベリコフがドリームスペルを受け取り、個人的に会見に加わる予定です。

ドリームスペルとタイムシフトの情報普及に関する将来の外交目標には、次のものが含まれます：1992年6月6日、ブラジルのリオ・デ・ジャネイロでの地球エコロジー・サミット&コンサート。7月25日、スペインのバルセロナでの夏のオリンピック競技開催。1992年7月24日26日、ラテンアメリカ主要諸国の共同会議。

将来に可能なネットワーク化と今後の配布に関しては、米国コロラド州ボルダーの「地球のためのキャンペーン」との接触が確立されています。

3. 計画プログラム

1992年1997年の5年のあいだ、ドリームスペルのプロセスは、金銭からキン・クレジット・

システムへの変換を想定します。この移行のあいだ、金銭は目的達成のためのひとつの手段として厳密に求められます。そのゴールを獲得するために、個人および法人の後援形態が想定されます。

ドリームスペルの組織形態は、その四次元的な性質により、「急速発展、自己溶解システム」(“FAST-EVOLVING, SELF-DISSOLVING SYSTEM”)となるように意図されています。ネットワーク化による配布プロセスは、自律的に実行され、すべての参加者の自由意志に基づく行為を通じ、中央集権化する管理体制なしに、ドリームスペルの目的を成就します。ドリームスペルが教育的、社会的なプロセスに十分に入り込んだときに、人間社会は本質的に自律的でどんな種類の外部的な権威をも必要としない、自己組織化する銀河文化へと変容されることとなります。

初めに、個人的な後援者が、ドリームスペル・キットの生産、配布機関、プレミアム製品収益機関に資金提供します。この収益機関は、キット配布の誘引と奨励をします。

1992年7月26日から1993年7月26日のあいだ、特に子供たちに向けられたドリームスペル・スウィープステイクスの、法人後援者のための諸戦略が実行されます。ドリームスペルの後援と引き換えに、法人は自分たちの製品群にドリームスペルのロゴを使うことが奨励されます。これらの戦略の目的は、世界中でドリームスペルの大量生産と配布を促進することにあります。鍵となる法人とメディアの目標はMTVであり、その他にも次のような「ソフト」娯楽・レジャー産業を含む法人後援者が見込まれます：コカコーラ、リーボック、ソニー、アップル、IBM。ボディショップ、エスプリ、マクドナルド、リーバイス、など。

ひとたび法人後援者の協力が得られれば、13：20の計時周波数に関する情報の普及と、人類とこの惑星の利益のためのドリームスペルのコードの新しい使用方法に関するさらなる研究のために、進行する社会的、教育的プログラムが開発されます。

ドリームスペル1万個の初版印刷費用は、77,000ドル(US)でした。この費用は、ひとりの個人の寄付でまかなわれ、1万ドル(US)足りなかった分は、デザイナーと印刷業者が埋め合わせをしました。ドリームスペルの創作者に対する補償はいまだに供給されていません。現時点までの配布プロセスは、できるだけ早く貸し借りのない明細が生じなければならないという理解を踏まえての、自由性と柔軟性があります。

英語版のドリームスペル・キット1万個の第2版を確実に印刷し、長期のドリームスペルのプログラムの質と成功を確固たるものにするために、私たちは金額にして10万ドル(US)の至急の後援を求めています。

この10万ドルのうち、5万ドルはすぐに第2版の英語版に当てられます。残りの5万ドルは次のように配分されます。1万ドルは、デザイナーと印刷業者の埋め合わせ分に返されます。4万ドルは、継続的な惑星後援プログラムのさらなる研究開発を確定し、確実なものとするための、アグエイアス夫妻の補償と旅費をまかないます。

この草稿の時点で、私たちはこのヴィジョンを理解する財務顧問とビジネスプランナーを求めています。生産の見積、製品群の説明、そして1992年から1997年までの5年間の移行期間の配布手順を作り出すことは重要です。私たちは、オープンで、創造的で、柔軟性があり、既存の営利／非営利の投機的事業の中で働くことも厭いません。

(チェルシー・パシフィック／インターリンク・プロダクションズ、サンフランシスコの配布、およびアグエイアス夫妻の個人支出からの初期支出明細と会計資料は、請求があり次第、送付可能です)

4. チーム開発

これまでのところ、ドリームスペルは、みずからの専門技能とエネルギーを並外れた冒険とも見える試みに委ねる危険をあえておかそうとする広範多彩な個性を引きつけています。この個性的な登場人物の配役は、以下を含めて、いまや自己認定(SELF-IDENTIFIED)したドリームスペルのチームを形成しつつあります。

香港：

TEDDY TSANG AND ELAINE LAI OF INTERLINK PRODUCTIONS LTD.

ハワイ：

LISA ZAGORSKI, CHELSEA PACIFIC, GENERAL DESIGN AND PRODUCT DEVELOPMENT.

CHRIS COWING, TEE-SHIRT PRODUCTION AND DREAMSPELL OUTREACH.

SANDRA EDDINGS, DREAMSPELL OUTREACH.

PATRIC LANE, DREAMSPELL DISTRIBUTION FOR HAWAII.

JOSE AND LLOYDINE ARGUELLES, CEO'S AND GALACTIC AMBASSADORS.

米国本土：

SAN FRANCISCO： WILLARD VAN DE BOGART, US DISTRIBUTION.

BOSTON： PAUL MECKLENBURG, DREAMSPELL COMMUNICATIONS WORLDWIDE.

VIRGINIA： STEVEN SPARKS, DREAMSPELL OUTREACH.

MINNEAPOLIS： RICHARD EAGLE AND BONITA, DREAMSPELL OUTREACH.

メキシコ：

MONTERREY： JOSE MACIAS AND LOURDES ALVAREZ, ACCION GUARDIANA INTERNATIONAL,
LATIN AMERICA DISTRIBUTION.

MEXICO CITY： MARTE AND ALEJANDRIA TREJO, DREAMSPELL OUTREACH.

CUERNAVACA： TYNETTA MUHAMMED, DREAMSPELL OUTREACH.

TEPOTZLAN： REINHART RUGE, WORLD PARLIAMENT ASSOCIATION, OUTREACH.

HUEHUECOYOTL： ALBERTO RUZ BUENFILS, PUBLICITY AND OUTREACH.

GUADALAJARA： PATRICIA RIOS AND RAOUL ACEVES, OUTREACH;

DONINGO DIAZ-PORTA, LATIN AMERICA OUTREACH.

スペイン：

PLANETART NETWORK, MADRID, MARYSOL GONZALES-STERLING
AND GERALDINE WAXKOVSKY, SPANISH TRANSLATION TEAM AND OUTREACH.

ロシア：

ST. PETERSBURG, SERGEI ROCAMBOLE, ANNA NIKOLAEVA,

AND CONSTANTINE IVANENKO, ARTS DEVELOPMENT.

日本：

TOKYO, TORU TAKAHASHI, TRANSLATION AND OUTREACH.

銀河連盟は静かにやってきます

ドリームスペルの贈り物指令：＜青い自己存在の猿＞の布告

「ドリームスペルは贈り物である。それはすべての人のキンにとっての知識である。すなわち、現在の世界状況で、これまで隠され、知られていなかった真実に橋をかける知識である。このような真実は、利益のために売買されてはならない。このような真実は、地球上の人々の共通言語として分かち合うべきものである」

ドリームスペル配布スピンは、磁気の竜、1991年10月1日にはじまり、宇宙の太陽、1992年6月17日に終わります。このスピンのあいだ、銀河連盟のエージェントとしての私たちの責任は、配布システムとドリームスペル・ネットワークを確立することによって、最初の1万個のドリームスペル・キットの贈り物を種つけすることでした。原則的に、この2重の目的は獲得されました。

現在のスピンは、7つのスピンの5年周期を完了します。新しいスピンは、第2の7つのスピンの5年周期をはじめます。磁気の竜、1992年6月18日に、ハーモニック・コンバージェンスの5年間は終わるのです。銀河文化のドリームスペルの最初の5年——ハーモニック・リサージェンス（調波復活）——がはじまろうとしています。

銀河連盟は、磁気の竜、1992年6月18日に、私たちホゼ&ロイディーン・アグエイアスを、ドリームスペル・キットとそのすべての補助的な製品の物質的な顕現に関するさらなる義務や責任から解放します。

ホゼ&ロイディーン・アグエイアスの名前によるドリームスペルの著作権は、出所を明らかにし、ギフトの無欠性（完璧さ、誠実さ）がドリームスペルの創造的な成長を制限せずに維持されることを確かなものにするためのものです。私たちは、この製品を、ドリームスペルの生産と配布に積極的な興味を持つあらゆる人に対しての贈り物として提供します。

この指令を受け取るあらゆる人は、過去のこのスピンのあいだにドリームスペル・キットの配布と、補助的な製品の発展に積極的に関わった人です。銀河連盟は、あなた自身の技能と知性があなたを導くままにこの贈り物を扱うこと——それを完全にあなたの自律性、自由意志、そして責任感覚に委ねています。どんなコミュニケーションの形をあなたが私たちと取りたいかを、私たち自身の努力の補償を含めて、ひとつのチームとしてあなたに決定を委ねています。

この指令を受け入れる人々は、現時点から、＜ドリームスペル・マトリクス・チーム＞として知られます。8・種、2013年7月26日までに獲得されるべき完全な銀河の同期のための位相プログラムに応じて、お互いにコミュニケーションを保ち、惑星地球上でのドリームスペルの生産、配布、普及をモニターする銀河の提携者であることを理解し、そのように行為することは、いまやあなたの責任です。

この指令は、カール・マルクスの銀河の署名である、青い自己存在の猿、1992年6月8日に公布されます。マルクスによれば、革命は、階級のない国家の創造で完了します。ですが、リオ・デ・ジャネイロでの古い秩序の最後の無益な策で、人類は、いまや国家のない階級になりました。惑星の無政府主義はいまや日常茶飯事です。新しい時間のときです。それは私たちの知っている世界の終わりですが、私たちはそれでよいと思っています。

「1992年7月26日のタイムシフトの到来までに、ほとんど時間が残されていない。この贈り物を十分に活用してほしい。銀河の第5の力は、虹の国家が惑星キンとしての時間船地球に、その回帰の時の指令を出せるかどうかを確認しようと待ち受けている。ドリームスペル：すべては、あなた次第だ」

タイムシフト、1992 年 7 月 26 日 / 銀河文化の勝利

1. タイムシフトとは何でしょうか。

1992 年 7 月 26 日の日付は、タイムシフトと称されています。これは、1987 年 8 月 16□ 17 日のハーモニック・コンバージェンスに引き続く出来事です。ハーモニック・コンバージェンスは、長さにして 26000 年の惑星進化周期の、最後の 26 年の幕開けを告げました。タイムシフトは、三次元の時間の消滅と、四次元の銀河文化の到来を宣言します。ハーモニック・コンバージェンスは、人と地上での出来事に関して、前代未聞の変化の 5 年間の引き金となりました。タイムシフトは、ハーモニック・リサージェンス（調波復活）——物質文明から銀河文化への収束の 8 年間——の引き金となることでしょう。

2. 何が起こるのでしょうか。

タイムシフトに、惑星地球は、その計時周波数のシフトを体験します。計時周波数とは、銀河生命の周期を支配し、形づくるものです。約 400 年前の物質主義者の地球文明の勃興とともに、人類と地球は、人工的な計時周波数、12 : 60——1 年 12 か月、1 時間 60 分——に支配され続けてきました。現在の惑星危機は、完全にこの計時周波数で作用する働きから生じています。12 : 60 の計時周波数が溶解しないかぎり、惑星危機は、解決不可能な問題として継続することでしょう。

1992 年 7 月 26 日に、地球の計時周波数は、12 : 60 から 13 : 20 にシフトします。13 は月の周波数であり、20 は太陽の周波数なので、このシフトは、自然な銀河の計時周波数への回帰となります。このシフトは、地球の電磁場における一時的な裂け目を生じ、それはすべての人工的な電気機能の断絶を引き起こすかもしれません。

3. なぜタイムシフトは起こるのでしょうか。

この惑星をしっかりとつかんでいる 12 : 60 の物質主義者の泡沫における最初の裂け目は、ハーモニック・コンバージェンスに、何百、何千の人々が日の出を祝うために集まったときに生じました。この 12 : 60 の泡沫における 13 : 20 の裂け目が、説明しがたい銀河ビームの前代未聞の解放により、過去 5 年間にわたって増大し続けました。これらのビームは、この惑星を重力、銀河の次元間エネルギーに浸らせ、この惑星の電磁場にも影響を及ぼしました。この電磁場は、すでに物質主義者の 12 : 60 の電気依存によって使い果たされ、オゾン消失によって極付近で弱められ、刻々と死につつあります。この電磁気的な休止状態に、この不活性化した場を「生き返らせる」効果を持つ、重力の流入が磁気化されるでしょう。

4. それを引き起こすために、あなたに何ができるのでしょうか。

1992 年 7 月 26 日のタイムシフトは、現在の地球の標準的な暦、グレゴリオ暦の日曜日に起こります。完全な「13 の月の暦」でも、この日付は日曜日であり、＜磁気の月＞の最初の日をするします。260 キンの銀河スピンの同期するこの日は、太陽銀河年で、＜青い宇宙の嵐＞のはじまりを告げます。それ以後は宇宙の嵐になるでしょう。12 : 60 周波数の電磁気の覆いは溶解し、それとともに、物質文明の最終的な衰弱がやってきます。この 13 : 20 周波数は、日常茶飯事のことになります。新しい時が地球に夜明けを告げることでしょう。

人類は、これを引き起こすことを手助けするために、7 月 13 日□ 7 月 27 日のあいだに緊急の休暇をとって備えることができます。これは、12 : 60 の物質文明に対する依存の度合い——たとえば、ガソリン、金銭、電気など——を避ける方法をできうるかぎり理解し、学ぶことを意味します。この休暇をとることで、人類は、銀河時間を支配する 13 日周期も体験できます。重

力と四次元の時間は本質的に磁氣的なので、人の感受性は大きくタイムシフトを増大させるでしょう。拡張された家族あるいは大きなグループで、さまざまなく自然の聖地>に集まることは、この磁氣化と、重力=銀河ビームの呼び込みを助けます。

5. 銀河文化の勝利。

人類の文明の到来は、惑星の道筋から見るとごくごく束の間の出来事にすぎません。惑星進化を司る要因は、究極的にその起源と性質を銀河に持っています。1945年、人類が原子を分解する知識を使って、みずからの些末な目的を確保して以来、人類はみずからを知らず知らずのうちにタイムシフトに導く道筋に置きました。この道筋は、銀河の修正のひとつです。

地球と自然の力は、人類の努力と比べてはるかに巨大です。タイムシフトとそのすばらしい余波は、人類を再びこの銀河の巨大な力と調和した状態に置くようにさせます。いままで抑圧されていた人類の力は浮上し、なかでもテレパシー能力が芽生えるでしょう。産業・物質文明構造を創造的に解体することで、普遍的な平和の時代が夜明けを告げます。7月27日、<磁氣の太陽>の日の、日の出で、銀河文化の勝利がいたるところで宣言されますように。

青いスペクトルの猿と白い太陽の風

白い魔法使いの年

青い水晶の嵐・水晶の月 18日

1992年6月16日

新しい太陽紀の宣言 8 年間の人類のタイムシフト

<黄色い磁気 of 太陽>、磁気 of 月の 2 日、1992 年 7 月 27 日は、惑星地球上の新しい太陽紀のはじまりをしるすものです。13 バクトウン（※訳注：13×約 400 年）のマヤの大周期（※約 5200 年）によれば、この磁気 of 太陽の日は、260 の一連のカトウン（※約 20 年）の、最後のカトウンのはじまりの日です。この最終カトウンはまた、大周期の最後あるいは 13 番目のバクトウンの、20 番目のカトウンでもあります。このカトウンにつけられたマヤ暦による名前は、13・アハウです。13 は、13 の銀河の音の最も高い音です。アハウ（太陽）は、20 の太陽の紋章のうちの 20 番目あるいは最も高い数字をつけられた紋章です。

13 番目の音で 20 番目の紋章、20 番目のカトウンで 13 番目のバクトウン——これをどのように考えても、<黄色い磁気 of 太陽>は、紀元 2013 年、『ドリームスペル、時間船地球 2013 の旅』と呼ばれるゲームの最終的なゴールと運命へと導く 13 : 20 の時間の完全なはじまりを新しく開きます。

<青い宇宙の嵐>の日付、1992 年 7 月 26 日は、200 年前にはじまった太陽の排出周期が消耗する最終地点を表わします。太陽銀河年の<青い宇宙の嵐>、1992□ 1993 年は、過去 200 年のカルマが最終的に演じ切られることをしるします。この物質主義の構造の最終的な消散が、同時に新しい太陽紀の最初の年となっています。

きょう、<黄色い磁気 of 太陽>の日に、太陽は、新しい 200 年の銀河の吸入をはじめます。これからの 20 年間は、18 世紀末期における強力な産業化のはじまり以来の、新鮮な銀河の空気を最初に吸い込むターニングポイントです。また、これからの 20 年間は、1618□ 1638 年の科学革命以来初めての、銀河の活性化の周期を示すものでもあります。これが新しい思考や振る舞いの兆しとなる見込みはたいへん大きいのです。

この新しい太陽紀の機会（チャンス）に対して完全にみずからを開くために、すべての人々が、銀河的に正確な 13 の月の計時システムに同期しなければなりません。この暦は、適切にも変換テンプレートと呼ばれています。「13 の月の暦」は、1992□ 2000 年の 8 年間にわたって、人類を物質主義の三次元の時間から、四次元の銀河文化の時間に変換するガイドラインをもたらします。

1992 年 7 月 26 日の日曜日は、<青い宇宙の嵐>の日曜日でもあります。この磁気 of 月の 1 日は、太陽銀河年での<青い宇宙の嵐>の年の、13 の月の最初の日です。これは、「13 の月の暦」の 52 週が、1993 年 7 月 24 日まで、グレゴリオ暦の 52 週と同期することを意味します。この新しい太陽紀によってもたらされる十全な機会を、変換のために活用し、人類がそれを受け取るために必要なことは、グレゴリオ暦から手を離すことだけです。この仕事は、<黄色い磁気 of 種>、次の磁気 of 月の一日である 1993 年 7 月 26 日、すなわち太陽銀河年の<黄色い磁気 of 種>の年の、13 の月の最初の日までに完了されなければなりません。

人類が、古い時間、古いシステムから離れ、新しいシステムに入るための他の方法はありません。<黄色い磁気 of 種>から、<青い銀河の嵐>である 2000 年 7 月 26 日まで、人類が物質主義から銀河文化へと完全に変換されるまでに、7 年が残されています。

ドリームスペル創世記によれば：

「12 : 60 の比を離れ、13 : 260 の比に入るための贈り物は、惑星奉仕のウェイブスペルを放つための、13 の月の暦である... 13 の月の暦の目的は、時間船地球のための惑星キンの奉仕を召集し合うことである。あらゆるウェイブスペルのように、13 の月の暦の惑星奉仕のウェイブスペルは、城のウェイブスペルと同じ冒険のテンプレートと時間魔術に従う」。

また、ドリームスペル・テキストの〈13の月の万年暦と、13の銀河の音のウェーブスペル〉の説明によれば、「この13の月の暦は、この惑星上のどこにいてもそれみずからに接点を持つ1つの有機体としての惑星キンを確立する同期モジュールである」。

タイムシフトの年、〈青い宇宙の嵐〉の焦点は、惑星キンが13の月の惑星奉仕のウェーブスペルによって生きることです。惑星キンは、タイムシフトの年の1年間のあいだ、パルサー・コードとウェーブスペルの冒険のテンプレートを、「13の月の暦」に応用することで、〈黄色い磁気の種〉、1993年7月26日までに、すべての人類がこの暦に従うようになることを、容易に取り計らうことができます。これを達成するためには、8年の変換周期の完了までに、仕事が地球に対する義務にとって代わられ、国家が生態地域にとって代わられ、電話やテレビがテレパシーにとって代わられるように、簡素ではあるものの英雄的な行為が、これを確実なものにしなければならないでしょう。最終的に、人類は、地球と完全に共振した五感によって、それを通して生きるようになるでしょう。「13の音の運動の宇宙論に従い、20の部族と四つの根源人種は、時間を通して他の次元に入り、どこにでも旅することができるようになる」。

8年間の変換テンプレートのガイドラインに従い、銀河太陽年の〈青い銀河の嵐〉のはじまり、2000年7月26日までに、人類のタイムシフトは、地球との共振——ハーモニック・リサーチェンス（調波復活）——によって生きる、単一の惑星有機体の創造となることでしょう。

時間船地球 2013 に全員乗船
虹の国家によろこそ

銀河連盟のために
青いスペクトルの猿と白い太陽の風
キン 40、黄色い磁気の太陽／磁気の月 2 日／青い宇宙の嵐の年

人類のタイムシフト、1992年～2000年 ハーモニック・リサーチェンスの8年間の変換テンプレート

- 年1 <青い宇宙の嵐>1992年7月26日～1993年7月25日
目的を見いだす
13の月の惑星奉仕の暦を創り出す
- 年2 <黄色い磁気の種>1993年7月26日～1994年7月25日
挑戦を見いだす
惑星奉仕を実施し、地球の解毒をはじめ
- 年3 <赤い月の月>1994年7月26日～1995年7月25日
奉仕を見いだす
すべての軍事力は、地球の清浄へと変換される
- 年4 <白い電気の魔法使い>1995年7月26日～1996年7月25日
形を見いだす
地球に対する義務は、毎日の祝祭へと拡張される
- 年5 <青い自己存在の嵐>1996年7月26日～1997年7月25日
輝きを命じる
太陽科学技術を通して、この惑星を生態地域化する
- 年6 <黄色い倍音の種>1997年7月26日～1998年7月25日
同等を命じる
キン・クレジット・システムを実施する
- 年7 <青い律動の月>1998年7月26日～1999年7月25日
調律を命じる
五感の太陽の家を活性化
- 年8 <白い共振の魔法使い>1999年7月26日～2000年7月25日
無欠性を命じる
惑星マニトウ——テレパシー的なスイッチボード（配電盤）
——を活性化

マトリクス・チャレンジ

キン 83、月の月 17 日
青い宇宙の嵐
タイムシフトの年

挑戦（チャレンジ）の月の月の midpoint になりました。惑星奉仕のウェイブスペル、青い宇宙の嵐の年の挑戦は、次のように確認されました。それは「13 の月の暦、『13 の月の動き』の生産」です。このテキストは、青い宇宙の嵐の年と黄色い磁気の種の年という重要な 2 年間（1992 年 7 月 26 日 □ 1994 年 7 月 25 日）をしるす 26 枚のテンプレートとともに完成しつつあります。

『13 の月の動き』の生産と並行するのは、地球規模の瞑想戦略「転がる地球、水晶の雷光、宇宙の嵐」、さらには『アルクトゥルス・プローブ』です。

『13 の月の動き』、『アルクトゥルス・プローブ』、そして「転がる地球」の瞑想のすべては、マス（一般大衆）を相手にするため、ドリームスペルおよびそのキットのための適切な「市場」を創造することに手を貸します。これが意味するところは、英語版の第 2 版のドリームスペル・キットの印刷が、現在、優先順位の第 1 番には来ていないということです。進行中のドリームスペルの生産状況は、次のように報告できます。

1) 『13 の月の動き』のテキストとカレンダー用テンプレートは、電気の月 12（1992 年 10 月 1 日）に完成します。これは確定した「13 の月の暦」で、それまでのすべての版よりも優先権の高いものです。これは、マス市場における出版を意図しており、1993 年 1 月 1 日、＜白い電気の鏡＞の日を発行日とすることを目標にしています。これは、すぐにすべての外国語の版でも手にはいるようになるでしょう。

2) 「転がる地球」の地球規模の瞑想は、ドリームスペル・ノードを含む、あらゆる関連ネットワークを通して促進されます。世界中での虹の国家の集まりの目標となる日付は、1993 年 3 月 5 日です。

3) 『アルクトゥルス・プローブ』は、『変容のヴィジョン』とともに、すべてのドリームスペル配布ノードと、書店で手にはいるようになります。『アルクトゥルス・プローブ』は、スペイン語、ドイツ語、日本語、ロシア語でも、その翻訳がすぐに手にはいるようになるでしょう。

4) 『ドリームスペル：時間船地球 2013 の旅』。キットの第 2 版は、より強力な市場の開発とともに、積極的で責任ある団体が贈り物としてドリームスペルを継続的に配布できるように資金援助することが待たれています。これは、残っているキットと、関連資料など、マーキング・リスト、会計などすべてが、すべて私たちの処置に一任されるようになることを意味しています。9 月 15 日に、私たちの息子であるポール・メクレンバーグがこの移行手続きを引き受けます。

5) 関連生産品の開発。ドリームスペルは、惑星地球の人類のための銀河文化の基礎です。ドリームスペルは、増大し、成長するようにつくられています。マスの参加を実現するためには、中央の管理事務局があってはなりません。ドリームスペルは、分散化した、自己権限化のプロセスであり、それは自己認定を通して進行します。私たちは、ドリームスペルの社交儀礼で動くべきであり、ドリームスペルの著作権に関与する製品をつくる誰もが、その出所である

私たちに、純益の 13 パーセントを還元することを望んでいます。

私たちは、すべての製品開発の計画、そのフィードバック、そしてロイヤルティの連絡を受け付けます。

過去、それがどんなに適切なものであっても、この指令は、これまでのすべての口頭の同意や文書よりも優先権があります。この指令の目的は、実務的なものであり、それはこの惑星とドリームスペルのために、最も偉大な自律的かつ匿名の創造性を養うためのものです。

ドリームスペルの無欠性のために。
ホゼ&ロイディーン・アグエイアス
青いスペクトルの猿と白い太陽の風

ドリームスペル：よりよい惑星のためのよりよい計画

クラトゥ・バラダ・ニクト！
銀河連盟は静かにやってきます。

＜赤い水晶の地球＞の布告

ころがる地球
水晶の雷
宇宙の嵐

1992 年、＜青い宇宙の嵐＞の年、惑星地球での戦いはいまだに猛威をふるっています。人類内乱の激しさは、静まるどころを知りません。人類が地球に挑む戦いは、おさまることなく荒れ狂っているのです。地球は、風に、火に、雷の音に言葉を託して尋ねます。

「なぜ？ いつまで続けるの？ もっとよい生き方はないのかい？」

私たちは、母なる地球の核（ハート）から、母なる地球の心（ハート）に向けて、＜惑星間協議会＞と＜地球の宮廷＞の集いを呼びかけます。それは、地球の事件を公式に聞き、人類を悩ませている病気の霊的な深度を提示し、攻撃性を越えた道筋を指し示すためです。

＜惑星間協議会＞と＜地球の宮廷＞は、ホロンの共同体を通して呼びかけられます。ミステリー・サークルの心象を使って集合的にフォーカスする、一連の地球規模の瞑想で集うホロンの共同体は、テレパシー的なつながりを通して惑星間協議会を「具体化する」でしょう。

地球規模＜惑星間協議会＞瞑想のドリームスペル・スケジュール：

秋分	9. 22. 92	赤い律動の地球
コロンブス・デイ	10. 12. 92	赤い宇宙の地球
“THE RAPTURE”	10. 28. 92	赤い電気の空歩く者
すべての魂の日	11. 01. 92	赤い共振の地球
磁気の地球	11. 21. 92	赤い磁気の地球
銀河の地球	12. 11. 92	赤い銀河の地球
冬至	12. 21. 92	青い倍音の手
大晦日	12. 31. 92	赤い月の地球
元旦	1. 01. 93	白い電気の鏡
太陽の地球	1. 20. 93	赤い太陽の地球
電気の地球	2. 09. 93	赤い電気の地球
惑星の地球	3. 01. 93	赤い惑星の地球
新しい銀河のスピン	3. 05. 93	赤い磁気の竜

＜赤い水晶の地球（9. 02. 92）の布告＞によれば、これらの瞑想は「ころがる地球、水晶の雷、宇宙の嵐」として知られるようになります。地球は、ころがっています。その雷は、純粋な心を持つ者にとっての水晶です。その嵐は、人のもともとの使命に対する墮落と、地球に対するその影響を、情け容赦なく評価する点で宇宙的で。

赤い磁気の竜、1993 年 3 月 5 日に、惑星キンの＜虹の国家＞の集いが召集されます。この集いは、この惑星のさまざまな場所で必要に応じて開かれます。この集いから＜地球の宮廷＞の布告が提出され、13 の月の道筋が開始されます。この道筋は、1993 年 7 月 26 日、＜黄色い磁気の種＞の地球規模の祝祭で頂点に達し、1993 年の 11 月 20 日、＜赤い磁気の竜＞という次の銀河スピン、“地球の解毒” 開始で完了します。

同封のミステリー・サークルのイメージ（※訳注：本文書では欠如）は、＜惑星間協議会＞と＜地球の宮廷＞の呼びかけに、あらゆる人が共通のフォーカスを持てるようにしてくれるもの

です。私たちは、独りではありません。時間の 20 の部族の惑星キンとして銀河連盟の力を呼び起こすこと、それはいまや私たちにかかっています。

クラトゥ・バラダ・ニクト！
銀河連盟は静かにやってきます！

伝達完了
青い磁気の嵐
月の月 13 日
1992 年 9 月 4 日

ドリームスペル公式記録

銀河連盟のプロジェクト、〈ドリームスペル〉の第一段階は完了しました。

この第一段階の目的は、テストの形をとっていました。その目的は、人類が贈り物を受け取り、その贈り物の本質を理解できるかどうかの能力を、テストすることにあります。

〈ドリームスペル〉の贈り物の本質は、銀河の四次元の時間を示すことにあります。これらのコードは、それ自体、完全であり、そしてどんな先入観にも汚されていない心の純粋さを必要とすることが、理解されてしかるべきでしょう。時間は売り渡すことができないがゆえに、〈ドリームスペル〉は贈り物なのです。時間は芸術であるがゆえに、〈ドリームスペル〉の無償配布プロセスは、実際には銀河芸術の形です。

1 万個の英語版キットのうち、その一部は無償配布されましたが、そのほとんどは一定の金銭と交換されました。米国では 12:60 が優勢であり、〈ドリームスペル〉をそれみずからが指し示す形で理解する心の純粋さがあるかどうかは、疑問の残るところです。〈ドリームスペル〉の成功は、それが情報革命であって、不当に利益を上げるための商品計画の源泉ではないことを、理解できるかどうかにかかっています。

1 万個のスペイン語版キットのうち、8000 個はメキシコで 2 日間に渡って無償配布され、金銭の受け渡しはありませんでした。この 2 日間の催し（1・世界の橋渡し□ 2・手、磁気の月・28 日□ 月の月・1 日）には、メキシコとラテンアメリカのあらゆる代表者たちが参加しました。この催しは参加費無料で行なわれました。スペインでは、2000 個のキットが、12:60 のお役所仕事で、いまだに税関でストップしたままです。それでもスペイン語圏では、〈ドリームスペル〉はこれから、それみずからが指し示す形で理解され、それにふさわしい形で活用されていくように思われます。

銀河連盟のプロジェクト、〈ドリームスペル〉の第二段階は、『13 の月の動き』を始めることです。これもまた、いまやかなりの惑星危機を予兆する計時周波数（※訳注・12:60 のこと）に対する無意識の忠節を、このままにしておくのかどうかという、人類に対するテストです。『13 の月の動き』を理解しないことには、〈ドリームスペル〉を深く理解することはできません。いまや「惑星暦（こよみ）協議会」が呼びかけられねばなりません。グレゴリオ暦を手放す必要に関する情報、「13 の月の暦」を受け入れること、そして 12:60 / 13:20 の周波数シフトの本質に対する理解を普及させなければなりません。次の試験日は、1993 年 7 月 26 日、〈黄色い磁気の種〉の日です。

開かれた心と純粋な気持ちで、
時間が芸術であることを知らしめましょう！

クラトゥ・バラダ・ニクト！
銀河連盟は静かにやってきます！

〈白い太陽の嵐〉と〈青いスペクトルの嵐〉によって受信される
青い宇宙の嵐の年
電気の月 12 日
キン 106、2・世界の橋渡し

マトリクス・サービス ＜青い水晶の夜＞の布告

文化による平和：惑星暦（こよみ）協議会を召集する

「あらゆる混乱を乗り越えて、天使たちは平和と善意を歌う。どんな銃も、どんな爆発物も、この天国の歌声をかき消すことはできない。そして、どんな地上的な知恵があっても、良き教えたる理想こそが、人生における最も大きな感化力、回復力のある原理であり続ける」（ニコライ・レーリヒ、『文化と平和』）

『13の月の動き』は、『ドリームスペル：時間船地球2013の旅』の礎石です。＜ドリームスペル＞は情報革命です。それは、現在のすべての人類のための普遍的な時間の凶像言語です。

＜ドリームスペル＞は、どんな歴史の弁証法をも越える、銀河文化の基礎です。銀河文化は、歴史と物質主義のあらゆる形態を超越し、普遍生命の根本となる文化です。

「文化は＜光＞に対する崇敬。文化は人類に対する愛。文化はよい香り、生命と美の統一。文化は高揚をもたらす感受性豊かな達成の統一。文化は生命の保護器官。文化は救い。文化は動機づけの力。文化は心。もし私たちが文化のあらゆる定義を集めれば、そこにいきいきとした至上の歓び、啓示と建設的な美の祭壇を見つける」（ニコライ・レーリヒ、『文化と平和』）

1935年4月15日、＜惑星の人＞の日、すべてのラテンアメリカ諸国の国家元首が、レーリヒの平和条約に調印するため、ホワイトハウスに会しました。レーリヒの平和条約の礎石は、芸術、科学、霊性の統一を象徴する「平和の旗」でした。

「平和の旗」は、あらゆる文化的な記念碑を飛び越え、戦争の時代に芸術と文化の原理を保護するしるしとなるべきものでした。レーリヒの平和条約と「平和の旗」は、文化を通しての平和を推進する主要な世界規模の運動にもかかわらず、いまや完全に忘れ去られています。第二次世界大戦後、物質主義の暗黒の力が、優位性を獲得したのです。

1983年、地球規模の芸術変容の手段として、惑星芸術ネットワークを形成したとき、私たちは文化を通しての平和を推進するにあたって、ニコライ&エレナ・レーリヒの仕事からたいへん大きな刺激を受けました。当時、私たちはシルクスクリーンによる「平和の旗」をつくり、そのサテンの旗はニューヨーク市のレーリヒ博物館と、モスクワの東洋美術博物館に展示され、今でもそこにかかっています。

1987年8月16□17日、＜電気の驚＞と＜自己存在の戦士＞の日、惑星芸術の催しであるハーモニック・コンバージェンスが催されました。その後の1989年、私たちはマヤの聖なる中心地、パレンケの最初の公的なオープニングに、「平和の旗」を提示しました。

1992年8月22□23日、＜磁気の世界の橋渡し＞と＜月の手＞の日、8000個のドリームスペル・キットが、メキシコ、モンテレー市の「ホテル・フィエスタ・インターナショナル」で、「ラテンアメリカ国際活動保護機関（ACCION GUARDIANA INTERNACIONAL PARA LATINOAMERICA）」の支援のもとに無償配布されました。

私たちはこの催しを、1935年4月15日のレーリヒ平和条約の調印と同等のことと見なしています。これと同時に、スペインでは「ヨーロッパ惑星芸術」（PLANET ART EUROPE）の後援のもとに、2000個のドリームスペル・キットが配布されつつあります。

これらドリームスペル・キットの贈り物は、文化を通しての平和を確立するレーリヒのビジョンの実現、そのはじまりです。

「文化という大きな樹は、限りない知、啓示に満ちた努力、たえまない創造力、そして高貴な達成によって滋養分を与えられる。私たちは研究、尊重、賞賛によって進化とともに歩む共同作業者となり、そして輝くばかりの崇高なく光線から真の知が湧き出る。この源泉から深い理解がやってくる。この深い理解から、崇高な美——平和のための啓示に満ち、洗練する力を持った熱狂が湧き起こる」(ニコライ・レーリヒ、『文化と平和』)

「13の月の暦」は、「平和の旗」よりもはるかに、この惑星上のあらゆる人々の生命に瞬時に影響を及ぼす潜在力を持っています。知のどんな手段よりもはるかに、この「13の月の暦」は、文化による平和をもたらす、完全な能力を持っています。

この「13の月の暦」は、いま『13の月の動き』というプログラムとして存在しています。しかしながら、この「13の月の暦」が理解され、世界中で手にはいるようにするために、私たちは「惑星暦(こよみ)協議会」の召集を呼びかけているのです。

「惑星暦協議会」の目的は、現在、世界中で使われているグレゴリオ暦を手放すこと、それにとって代わる「13の月の暦」を公的に世界に知らせることです。「惑星暦協議会」は当初、メキシコ、ラテンアメリカ、スペインの人々によって召集されるようになるでしょう。このための準備は、『13の月の動き』のテキストと暦の翻訳および普及を通して、今すぐに始めなければなりません。1993年3月5日、<磁気の竜>、スピン9の最初の日までに、『13の月の動き』、「惑星暦協議会」のネットワークは、みずからの努力を結集し、新しい時間の知識が人々に行き渡るようにするのです。1993年7月26日、<磁気の種>の日、次の銀河太陽年のはじまりの日までに、「惑星暦協議会」は、「13の月の暦」と、<普遍的な平和>と<銀河文化>の時代への参入に関する世界規模の宣言をするために、準備されていなければなりません。

レーリヒの言葉を言い換えるとすれば、この地球のあらゆる大地、あらゆる精神、美、知の中心地、そしてあらゆる家庭の中で、新しい時間の「13の月の暦」とドリームスペルの知識が広がる時、私たちの前には、どれほど刷新された日が展開されることでしょうか。いまグレゴリオ暦によって統制されている古い時間を捨て去り、13の月の新しい時間に入り込むこと以外、この惑星に道はありません。

このプロセスを手伝うために、スピン9のはじまり、1993年3月5日の後のできるだけ早い時期に、「ラテンアメリカ国際活動保護機関」と「ヨーロッパ惑星芸術」の援助を通して、私たちはメキシコとスペインに旅することを考えています。

レーリヒの平和条約は、調波48「惑星の処理：現われの自由意志を練り上げる」のあいだに調印されました。ラテンアメリカのドリームスペルの贈り物は、調波17「電気の保存：奉仕の気品を思い出す」のあいだに生じました。これら2つの調波のメッセージを結びつけ、この惑星上で<銀河文化と啓示>を引き起こし、それを促進させることに最善を尽くしましょう。

「あなたは尋ねられるかもしれない。きみはどのような国家や未来の制度を夢見ているのかね、と。あなたは十分な尊厳をもって答える：私たちは<偉大な文化>を持つ国家を心に浮かべます、と。<偉大な文化>を持つ国家こそ、あなたの気高い座右の銘となる。あなたは、そのような国家であれば、平和に満ちており、そこには知と美がとって代わっている... 手は剣を持つことに飽き飽きしているが、霊的な力が維持する創造の手は、飽くことを知らず、不屈である。どんな剣も文化の遺産を破壊できない。人の心は、一時的に原初の源泉から逸脱するかもしれないが、前もって運命づけられたその時に、それは刷新された霊的な力で再編成される」(ニコライ・レーリヒ、『文化と平和』)

私たちの使命は明らかです。運命が私たちを結びつけます。前に踏み出しましょう。

<白い太陽の風> & <青いスペクトルの猿>
青い宇宙の嵐の年
青い水晶の夜 電気の月

ドリームスペルの行動計画と、地球の祝宴（ポトラッチ）

ドリームスペルは、分散化された自律的な贈り物です。ドリームスペルをこの惑星地球に種つけする最初の段階は完了しました(20,000キット;英語版10,000キット、スペイン語版10,000キット)。ドリームスペルの贈り物は、ひとつのお祝いの催しで、できるかぎり多くのドリームスペル・キットを無償で配る、芸術を誉め称える作業です。この催しを、時間船地球の惑星キンのすべてが乗船するまで、この惑星上での必要に応じて、どこでも何度でも繰り返してください。

ドリームスペル・キットを無償配布するには、自律的で分散的な生態地域における惑星キンを確立するプログラムに従います。ドリームスペルに対する責任は、このプロセスの資金調達から無償配布までの種つけを請け負う人々にかかっています。その方法は、次のようなものです。

1. 地域のコミュニティや生態地域から資金を調達する。

各言語によるドリームスペル・キットの最低生産単位：10,000 個

10,000 キットのコストは、US ドルで\$90,000 (キット1 個あたり\$9.00)。

配布者の最低注文単位は1,000 個／最低コストは\$9,000。

したがって集団で注文する場合、一回の生産を10 もしくは、それ以下の注文単位でまかなうことができます。

5,000 キット以下の注文に関しては、前払いしてください。5,000 キット以上の注文に関しては、コストの半分を前もって支払います。それぞれ個々の注文で5,000 キット以下の場合は、輸送料、保険、配送、添付資料費に、別途\$300 を加えてください。

2. 香港の INTERLINK PRODUCTIONS の TEDDY TSANG に直接連絡をどうぞ。

FAX 011 852 2564 4003

BLOCK B, 6TH FLOOR, TUNG KIN FACTORY BLDG.

198 TSAT TSE MUI ROAD, NORTH POINT, H. K.

3. 注文品を税関で受け取る際には、ドリームスペルが教育ゲームの贈り物であり、利益のための商品でないことを、税関にはっきりと告げてください。税関の人をあなたの贈り物の催しに招いてあげましょう。

4. 香港からのドリームスペル到着の前に、それに合わせて<ドリームスペルの地球の祝宴>の計画を立てます。<ドリームスペルの地球の祝宴>では、“時は金なり”という

12:60 の価値を超越し、“時は芸術なり”という13:20 の価値を出現させるという双方を実演し、ドリームスペル・キットが贈り物として配布されます。このようにして、それぞれの<ドリームスペルの地球の祝宴>は、銀河文化の到着を型どったものになります。この催しは、それぞれの生態地域に応じた文化的な伝統にふさわしい形をとることができます。ドリームスペルは、贈り物です。それを利益のために販売することは、銀河の規準に違反します。

いますぐ行動してください！ <144 日間のハーモニック・コンバージェンス> (1993 年 3 月 5 日□ 7 月 26 日) のあいだに、あなたの生態地域で<ドリームスペルの地球の祝宴>を主催する最初の人になってください。

青い宇宙の嵐の年
倍音の月 27 日
キン 177・赤い銀河の地球

完全警戒警報 タイムシフトからマインドシフトへ

私たちの知っている時間の終わり

惑星の月 19 日、赤い磁気の日、魅惑の緑の中央の城に入る日は、グレゴリオ暦の 12 : 60 の世界では、1997 年 4 月 22 日、アースデイ（地球の日）で、「13 の月の暦に替える平和の運動」は昨年、この日を「生物圏を認識する日」として祝った。

今年のアースデイは、最も非日常的な出来事が起こるといふ一つの例外を除けば、世界のメディアの基準からすると注目に値しないことだった。今年のアースデイを特徴づけるその唯一の出来事とは、ペルーのリマにある日本大使館へのペルー軍の強行突入だ。その結果は、14 人のトゥパク・アマルのゲリラに 126 日間とらわれていた残りの 71 人の人質の解放と、十代の若者を含むそのゲリラ全員の抹殺である。トゥパク・アマルのほとんどのメンバーは、投降しようとしていた。そのうち 8 人は、攻撃されたときにサッカーをしていた。

「水晶の夜の円卓：獣の手の内を暴く、ジョーおじさんの 1,352 番目の瞑想」と題された文書によれば、虐殺されたトゥパク・アマルは、ひとつの目的につかえた。その目的とは、「獣、すなわち G 7 の第三世界搾取をはかる銀行家の新解放政策、の手の内を暴くこと」である。ペルー軍のアースデイの反テロ行動は、「獣の手の内を暴く」作業を完了させた。それは、トゥパク・アマルがクリスマスの 1 週間前にはじめたことを終了させたのである。トゥパク・アマルは、決して人質を傷つけはしなかった。「世界の報道機関」は、この反テロの突入が、歴史上、この種のものとしては最も成功を収めたもののひとつであると賞賛した。日本の橋本総理大臣は賛意を示したが、強行突入の時期については知らされていなかったこと、および厳密な規定解釈をすれば、その突入が日本の領土、すなわち大使館とその公邸内で行なわれたことを指摘した。

1648 年、ウェストファリア（バストファーレン、ドイツの一地方で 30 年戦争の平和条約締結地）の条約から生じた、現代の国家主義すべての遺産を引き継いだために、この日本人は、ペルーの日本大使館が日本の領土であるという、国家主義的な主張をするのだろう。日本は、太平洋の反対側に位置しているにもかかわらず、である。これでは、日本大使館の公邸内で死んだ先住民族のトゥパク・アマルにとって、もともと彼らの居住地だった大地から二度も引き離され、土地を奪われたことになってしまう。ペルー政府、日本政府、そして世界のメディアは皆、相互に助け合い、共謀して、トゥパク・アマルの実情がどのようなものだったかをまったく認識しようとしな。では、このトゥパク・アマルの実情とは、どのようなものなのだろうか？

トゥパクの実情は、バチカンの「発見の教義」（1452 年）に対立した先住民の実情である。発見の教義は、ピサロや彼の軍隊が 1521 年の侵略に引き続き、アンデス文明の人々を多数殺すことを可能にした。1582 年までに、ペルーはメキシコと同様「新スペイン」（※訳注：いわゆる「ヌエバ・エスパーニャ」）になり、支配階級や打ち負かされた先住民民族の残りは、新しい暦と新しい時間を与えられた。「グレゴリオ暦」が新しい暦の名前で、「植民地主義」が新しい時間（時代）だった。いまや 1997 年、コロンブスが「発見の教義」をテストして 505 年が経過した。しかし、それを演じる者たちが変わっただけで、基本的には何も変わっていない。バチカンは G 7 に大事にされており、日本の天皇がスペインの国王にとって代わっただけである。

どのようにしてフジモリという名前の男が、バチカン教会によって支持される位置につくようになったのか、そしてどのようにして日本大使館が、銀行家や外国の金融関係者に対して不満を持つ先住民のターゲットになったのかは、いまだに「発見の教義」が世界を操作していると

いう、ただその度合いを示すにすぎない。日本人がトゥパク・アマルのターゲットになったのは、フジモリが日系人であるからだけでなく、日本がG7、すなわち最も産業化された先進七か国の一員だからである。いまやG7は、事実上、すべての惑星情勢を支配する経済政治秩序だ。

フジモリ大統領がG7の日本人関係者の操り人形である、という結論を引き出すことはむしろかしくない。そうでなければ日本大使館が、ペルーのリマにある最も高級住宅地の郊外のひとつにあり、高度に要塞化した建物となっている理由は考えられない。ウェストファリア（ベストファーレン）条約は、国家に戦争する権利を与えた。フジモリ大統領が権力を握るようになったのは、1992年、コロンブスから500年後であり、彼はペルー軍による支援を受けていた。橋本総理大臣は、大使館の構内が日本の領有地であることに気づいており、行き詰まって流血の事態になるのを見たくはないと宣言した。フジモリ大統領の軍隊は、橋本総理を気づかう「サービス」として、秘密裡の強行突入を行なった。それにもかかわらず、事実は残る。すなわち、ペルーの統治国家の軍隊が、リマの日本大使館の攻撃において、日本の統治する領内で戦争行為を行なったという事実である。ペルー軍による戦争行為は、みずからの民衆、トゥパク・アマルの先住民メンバーに対して犯された。その戦争行為は、日本の大使、政府高官、雑多な銀行家、ビジネスマン、外交官などのためだった。

日本の人々が、橋本総理やフジモリ大統領を支援する度合いは、G7の信条体系によってこれまで、その人々の意識がどの程度占有されてきたかの度合いに等しい。G7の信条体系は、12:60の信条体系全体と、その集成的な心の状態の最終的な階層化である。この信条体系は、グレゴリオ文明、すなわち私たちが今日知っている文明を構成している。この世界は、軍隊によって維持されている銀行家の「民主主義」で、惑星上のあらゆるところで容赦のない消費者主義を生み出し、指数関数的（急激）に生物圏の生命資源を搾取している。

1997年、「生物圏を認識する日」、アースデイに先住民の流血が生じたことは、古い時間の終わりの確固たるしるしである。グレゴリオ文明は、メキシコとペルーの征服から、植民地主義者の奴隷文化、そして今日の現代産業・銀行家の「グローバリゼーションの帝国」までの期間を走り抜けた。

千年紀の前に起きると何度も布告されたアポカリプスが、世界の舞台で完全に上演される。いまや時間のアポカリプス、グレゴリオ暦の時間と機械文明の終わり、私たちの知っている時間の終わりであり、生物圏の自然な宇宙秩序の新しい時間における復活の時である。

グレゴリオ暦の信条体系の完全な崩壊をもたらし、時間統制の新しい秩序の確立の動きが進行している。グレゴリオ暦の信条体系の中から、12:60の制度の構造全体の不滅性——政府、軍隊、企業世界全般——が完全に墮落し、いまや崩壊しつつある。これらすべての信条体系構造は、グレゴリオ暦にコード化されている。したがってグレゴリオ文明である。そして、その文明のないところから、新しい13:20の周波数が、マインドシフトを引き起こす。

1992年、タイムシフトが呼びかけられた。これは、沸き上がる13:20の周波数からの最初の信号だった。正しい尺度基準、「13の月・28日の暦」に基づいて新しい時間の夜明けがはじまりつつあった。「パカル・ヴォタンのテレクトノン」という形と名前と、預言が「13の月の暦」を裏付けてくれた（1993年）。預言を実施するために、「13の月の暦に替える平和の運動」が生まれ（1994年）、「はじめての生物圏の権利の集会」（1996年）を呼びかけるという形でその使命をすぐに成就した。現在進行中の「倫理プロジェクト」という13:20のプログラムは、「生物圏から精神圏への移行」と調整された。「生物圏から精神圏への移行」は、生物圏から精神圏、すなわち惑星地球のテレパシー的な統一場への変容をしるす。「生物圏から精神圏への移行」はマインドシフトを通して、意識的に活性化されるようになる。グレゴリオ暦と機械化されたグレゴリオ時間を取り除くことがマインドシフトである。グレゴリオ暦を「13の月の暦」に即座にとって代えることが、新しい時間における復活をなしている。

マインドシフトが、「不可避の出来事」である。それが不可避なのは、グレゴリオ文明の偽りの人工的な世界が、終わりを告げようとしているからである。ちょうど機械が燃料切れを起こすように、12:60文明の全機構がただ単純に機能を停止するだろう。古い秩序の無効化は、惑

星規模のテレパシー的な自己制御の波を発生させる「倫理プロジェクト」によって支援され、支持される。

「このテレパシー波が、フィードバック励起の頂点に達した瞬間(1997年の時間をはずした日、4・夜)に、それ自身に見合った形で投影されるとき、それは一種の次元間テレパシー永続波を創り出す。これは、一種の精神的なくむち打ち>：不可避の出来事——として体験される高次元の・心的な周波数調整である。あらゆる人々があらゆることを思い出すだろう。思い出す必要のなかった多くの事柄を飲んで思い出すようになるだろう。古い樹は死に、それが死んだことを誰もが知るだろう。そして新しい樹が成長し、その新しい樹が成長していることを誰もが知るだろう」(「時間の法則の20の銘板」、64ページ「不可避の出来事のマインドシフト」)。もしあなたがここまで読み進んできて、それまで読んだところを理解しているなら、確実に準備が整っていることを意味する。

水晶の月28日から磁気の月22日まで、12:60の物質主義の消費者主義に対する銀河ストライキを呼びかけることに加えて、「世界規模で13の月の暦に替える平和の運動」は、「時は金なり」の独裁に掌握されている、偽りの時間の過ちに生きる人類の恐ろしい歴史に公式的に区切りをつける「審判の日の法廷」と「時間の法則に関する世界会議」を呼びかけている。この「法廷」と「世界会議」は、日本の東京で、宇宙の月23日から28日にかけて開かれる。

現代史の最終位相が、1945年8月6日の広島原爆と8月9日の長崎原爆という形で日本の大地に生じた。ペルーの日本の「大地」での14人のトゥパク・アマルの殺戮は、現代史の最終章での、はじめての出来事である。日本で開かれる「法廷」と「会議」は、この現代史およびバビロニアではじまったグレゴリオ暦文明の構造全体の最終章を閉じる最後の出来事となるだろう。世界中で参加する集団により同期がとられる、人類の歴史において最も精神的に高揚した瞬間は、私たち人類の時間における過ちと誤りのすべてを知的に認める集合的な意志を喚起するだろう。この崇高な道徳的良心に基づく行為が、公に伝達され、放送されることで、それ自体が人類にマインドシフト——精神圏の四次元的な心への栄光に満ちた参入——に備えさせることになる。

大きな催しが、1987年のハーモニック・コンバージェンスによってはじめられた10年間のケツァルコアトル・プロジェクトを完了させるために生じつつある。すでに世界中でさまざまなレベルの催しが計画されているが、準備のための鍵となる日付は、7月25日の「時間をはずした日」と、7月26日の黄色い倍音の種、すなわち預言の第5年の初日、不可避の出来事、新しい時間における復活の日である。すべては、準備された。太陽は、地球に再生的な太陽の放出物を注入し続けている。地球の四次元の母体は、いまや準備され、積み荷の人類がマインドシフトを体験し、時間船地球2013に乗船するのを待ち受けている。

時間をはずした日：マインドシフト

キン43：青い自己存在の夜、特定の週に含まれず、曜日を持たない日。普遍的な祈り、つぐない、瞑想。次元間の門でテレパシー永続波を創り出すための「時間船をドック入りさせる」地球規模のテレパシー瞑想(グレゴリオ暦：1997年7月25日)。

古い時間の終わりの公式化は、「時間をはずした日」として普遍的に祝われる。惑星地球のあらゆる人々は、「ひとつの人類家族」として「新しい時間」に入ることができるように招待される。すべての人々は、ふだんの仕事から離れ、車、銃器を手離して、平和の輪になって集まり、新しい時間におけるあがないと復活を祈るように求められる。人々が集まる場所はどこでもかまわないが、特に自然の聖地、あるいは人的に作られた聖地などの場所で集まることを考慮するべきだろう。

この「時間をはずした日」、260キンの銀河スピンの「青い自己存在の夜」は、ショチカルコ、ケツァルコアトルの本拠地で古い時間の終わりとして予見されている。これが「決断の日」、審判の日と地上の地獄の終わりである。この永遠の瞬間は、惑星道徳の緊急事態(emergency)から、惑星規模の霊的な出現(emergence)、生物圏の解放への道を完了させる。

地球の人々は、この普遍的な平和への祈り、つぐない、瞑想の日に参加するように呼びかけ

られるとともに、倫理プロジェクトの先発隊が「時間船をドック入りさせる」地球規模のテレパシー瞑想を指揮する。この「時間をはずした日」、13の月の1年の365番目の日で、曜日を持たない日の力は、次元間の門の意識的な表現となる。

倫理プロジェクトは、サイバーク・プレートという、これまで無意識でほとんど知覚されることのなかった惑星の記憶と進化の制御装置を開き、それを意識化する科学実験である。この訓練は、リアルタイムの連続のプログラムで、自己反射的な意識をこれらのプレートのサイ時間単位と調整させる「生物圏から精神圏への移行」における重大な要素である。最初のサイバーク・プレートの開示は、テレパシー的に13番目の月の28日、すなわち「時間をはずした日」の前日に完了する。「時間をはずした日」は、ひとつのプレートのテレパシー的な開示を完了し、「時間をはずした日」の翌日、黄色い倍音の種にはじまる第2のプレートのテレパシー的な開示とのあいだにある、現実を生じる休止である。この訓練の結果は、次元間の休止、「マインドシフト」を創り出す。

地球規模のテレパシー瞑想、「時間船をドック入りさせる」は、この休止を活用して、テレパシー永続波を創り出す。倫理プロジェクトの実践者と、それに参加することに関心のある人々すべては、焦点を定めた視覚化「時間船」を維持する。この焦点を定めた視覚化の効力は、この訓練の最初の1年間全体で構築されたテレパシー的な励起の波を完了させるだろう。集まったテレパシー的な励起の波は、「時間をはずした日」の焦点を定めたテレパシー的な視覚化に遭遇し、次元間のテレパシー永続波として知られるものを生み出す。最初は知覚不可能だが、しかしゆっくりと集まる勢いで、この永続波はマインドシフトを誘発する。すなわち、偽りの12:60の時間の支配の結果生じた人類の心の集合的な信条体系、それにおいて確立した人工的で心的な構造と規則性を溶解する。

これらの恣意的な規則性が溶解するにつれ、新しい時間の中で復活する準備の整っている者たちは、解放、歓び、融解を体験する。準備の整っていない者にとって、そこには心的な苦しみ、深い混乱や喪失感があるかもしれない。復活した者と、いまだにみずから作り出した地獄に居続ける者のあいだに自然な分離が生じる。だが、疑問の余地はない。マインドシフトは起こりつつある。古い時間は消え去る。新しい時間の夜明けがはじまる。

白い銀河の魔法使い（1987年7月26日）にはじまったケツアルコアトル・プロジェクトの10年間が成就される。時間船は、この10年間、事実上の仮想現実だったが、それはいまや永続するテレパシー的な現実となる。それを知覚可能な人々は、航海者として参加するようになる。残りの人々もやがてはそれに従い、知るようになる。その人たちもまた、時間の航海者、新しい宇宙の民である地球の魔法使いとなるだろう。

タイムシフト&ドリームスペル・ガイド

青い銀河の嵐の年・磁気の日1日/kin99 (2000年7月26日) 発行

白いスペクトルの魔法使いの年・倍音の日17日/kin22 (2003年12月1日) 第2刷発行

著者：ヴァルム・ヴォタン&ボロン・イク (ホゼ&ロイディーン・アグエイアス)

翻訳・構成：高橋 徹&PAN日本語翻訳チーム

協力：(旧) パン・ジャパン

編集・発行：PANブックレット帯広

●「PAN日本語翻訳チーム」による訳語の見直し等により、文章の語句を変更することがあります。